

[整備事業者のためのフリーペーパー]

MSR

月刊 [エムエスアール]

7月号

メンテナンスショップレポート

令和5年6月5日発行(毎月5日発行)

The 37th AUTO SERVICE SHOW 2023

ヒトとクルマの
未来を守る整備機器

特集

第37回 オートサービスショー2023

見どころ紹介／誌上展

[連載]

エイミングを深く知るためのASVの基礎知識／みんなの修理事例
儲けるためのマナー講座／実践M&A こんな時どうする？
車販取り組みのための基礎工事／いずみの車検予約やってみた

BANZAI

SMART

sustainable mobility actions realize tomorrow

SMART

sustainable mobility actions realize tomorrow

第37回 オートサービスショー2023

2023 6.15 THU 17 SAT 東京ビッグサイト
東1ホール・屋外展示場

バンザイブースは
東1ホール・
屋外展示場です



SMART SERVICE

～ 自動車整備のみらいをデザイン ～

サステナブルな社会の実現へ、動き始めた世界。
未来のモビリティへと進化するクルマ。
新時代のサービス創造に向けて、求められるアクション…
コンセプトは「SMART SERVICE」。
安全で安心なモビリティ社会を実現する、
明日のサービスのあり方をデザインします。



皆様のご来場を心よりお待ちしております!

事前登録をお願い致します

オートサービスショー2023へご来場の皆様につきましては、入場の際に**事前登録**が必要です。
事前登録後に**来場者証**を**A4用紙に印刷**して当日ご持参ください。

来場者事前登録受付サイト▶<https://f-vr.jp/jasea/autoservice/>



来場者証イメージ

⚠ 安全に関するご注意 -ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。【型式・仕様は予告なく変更することがあります。】

BANZAI 株式会社 **バンザイ**

■本社 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19
TEL 03(3769)6880(代) FAX 03(3456)4691
<https://www.banzai.co.jp> E-mail:eigy@banzai.co.jp



ISO9001認証取得
ISO14001認証取得

バンザイはSDGsを推進する
日本ユネスコ協会連盟の維持
会員として支援しています。

ALTA
ブース
東1ホール 128ブース



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

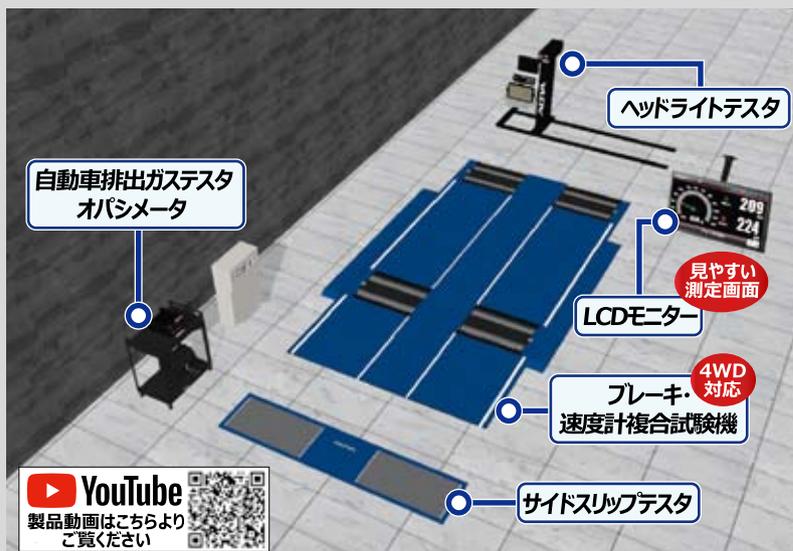
展示予定商品のご紹介

OSS申請システム連動可能!
検査業務の効率化を実現



コンピューター式検査システム スマートヴィス

コンプライアンス強化
検査未実施を防止
ヒューマンエラー防止



OSSシステム・整備システムとの連動可能

- BroadLeaf
- DIC JPN
- VERTICE
- MSP「Web 継続システム」
- NS21「NS21システム」
- DIC ジャパン「OSS 一等書記官」
- 自検協「スマート継続OSSシステム」
- ベルティス「extreme」
- プロードリーフ「スーパー検査員」他

ヒューマンエラー防止に貢献

▶ 各測定画面



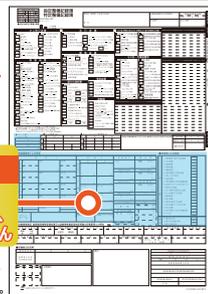
POINT!!
未検査項目・
不適合項目は
一目瞭然!

▶ 記録簿印字

正確な記録簿印字を
実現!!

POINT!!
不適合項目・
未検査項目がある場合、
記録簿の印字はできません

※ 記録簿印字にはオプションの
プリンターの導入が必要です。



Quick Aligner 3D Auto Boom

ホイールアライメントテスター クイックアライナー3Dオートブーム

サポートセンター1年間無料!

圧倒的なコストパフォーマンスを実現



リモート操作可能

TWIN LIFT

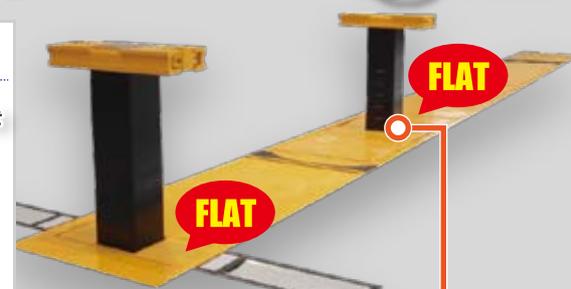
大型車対応 ツインリフト

アルティアオリジナルラインナップ

安全で効率的な作業環境を実現

能力
16t /1ポストあたり

▶ クロスレーザー
アタッチメント
合わせにくい
ジャッキアップポイントを
レーザーで照射



▶ 油圧拡張受台仕様

リモコン操作で
らくらく受台セッティング!

特許 第6656116号
特許 第6902126号



POINT!!

ポスト増設で
連節バスや
特殊車両も
リフトアップ可能!

創造する信頼のパートナー



株式会社アルティア

〒104-6206 東京都中央区晴海 1-8-12 晴海トリトンスクエア Z 6 階

☎ 03-6777-0038

支店: 札幌・仙台・首都圏・関東信越・名古屋・大阪・広島・福岡



<https://altia.co.jp>



売上どうする？

タイヤピットなら

プラン別1店舗あたり

年間平均送客

基本プラン：約20件
 シルバー：約25件!!
 ゴールド：約45件!!
 サテライト：約130件!!

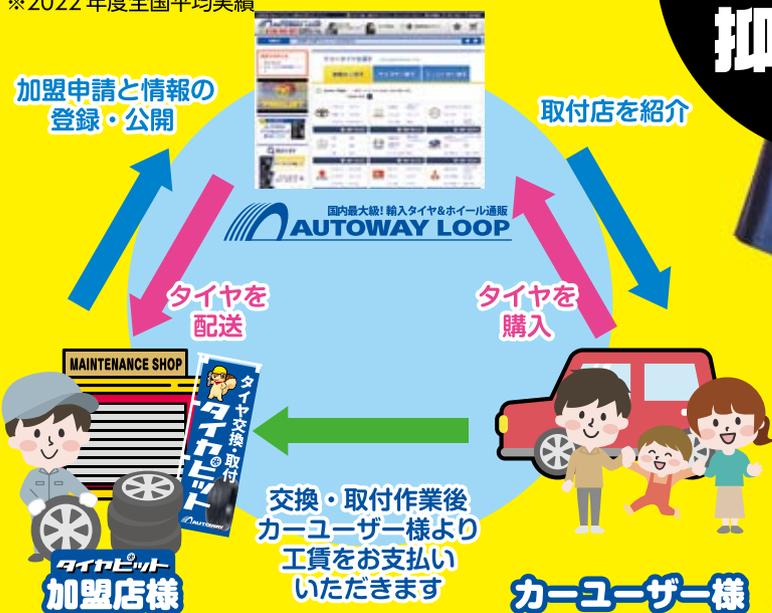
※2022年度全国平均実績

イメージキャラクター
博多華丸さん

イメージキャラクター
博多大吉さん

広告費は
なるべく
抑えたい

今の事業に
リンクする
新事業って



タイヤピットを通じて
新規顧客の獲得!!

リピーターを
獲得!!

タイヤ交換・取付工賃収入以外の
車検・整備などで **増収増益!!**

詳しくは
こちら▶



基本プラン

●登録更新費用/年額 6,050円 (税込)

●プラン利用料/月額 0円

シルバープラン

●登録更新費用/年額 6,050円 (税込)

●プラン利用料/月額 2,750円 (税込)

ゴールドプラン

●登録更新費用/年額 6,050円 (税込)

●プラン利用料/月額 4,950円 (税込)

低コストでカーユーザー様からのタイヤ交換・取付工賃収入が見込めます!!

プロトグループ

輸入タイヤ通販

AUTOWAY

タイヤピット

加盟公開店舗数全国 **3,400** 店舗突破!

※2023年4月当社実績

タイヤピット加盟に関する詳細は、オートウェイ **タイヤピット事業部** へ。

093-435-5500

受付時間 / 平日[月~金] 9:00 ~ 18:00

[整備事業者のためのフリーペーパー]

MSR

月刊メンテナンスショップレポート
令和5年6月5日発行 ¥0
7月号



[表紙写真]

国内外から各種自動車検査用機器を一堂に集めて展示する第37回オートサービスショー2023。4年ぶりの開催で期待大。

Webで閲覧できます

MSRは全国の配布協力業者からお届けします。お近くに配布協力業者がない場合、下記より閲覧できます。

<https://bsrweb.jp/>
メンテナンス
ショップレポート

発行人 小川直紀
編集長 八木正純
編集・制作スタッフ 市井康義、長谷川明憲
樋口祥三郎、高橋美穂
青山竜、木下慶亮
加戸利一
取材協力 泉山大（プロジェクトD）

発行所 株式会社プロトリオス

[東京編集課]

〒115-0045 東京都北区赤羽 2-51-3
TEL03-5939-4133 FAX03-5939-4135

[大阪編集課]

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL06-6227-5601 FAX06-6227-5606

印刷所 共立印刷株式会社

特集

07 第37回
オートサービスショー2023

6月15日から6月17日の3日間、東京ビッグサイトで第37回オートサービスショー2023が開催される。コロナ禍により前回（2021年）は中止となったため、4年ぶりの開催となる今回。どんな商品が登場する？



07 委員長インタビュー

08 会場案内図

10 見どころ紹介

・一般整備機器 ・塗装関連機器 ・副資材・カーケア用品

16 出展者一覧

17 誌上展

・アルティア ・安全自動車 ・イヤサカ
・オートウェイ ・京都機械工具 ・グラスウエルドジャパン
・ケキテック ・スピーディ ・バレット
・バンザイ ・ボッシュ

工場ルポ

37 平田自動車工業（神奈川県大和市）

情報

27 情報BOX

連載記事

28 エイミングを深く知るためのASVの基礎知識

寄稿 佐野 和昭

32 儲けるためのマナー講座

寄稿 早藤 原田さとみ

33 車販取り組みのための基礎工事

寄稿 チームエル 関友信

34 いづみの車検予約やってみた

寄稿 ヤマウチ 人見いづみ

35 みんなの修理事例

高山自動車（宮崎県宮崎市）

36 実践M&A こんな時どうする？

寄稿 フォーバル 寺越基格

※今回、業界徒然草及び新製品情報はお休みです

第37回 オートサービスショー2023

2023.6.15 THU - 17 SAT 東京ビッグサイト 東1・2・3ホール及び屋外展示場



The 37th AUTO SERVICE SHOW 2023

ヒトとクルマの
未来を守る整備機器

会 期：2023年6月15日(木)[開会式] 9:30～ 9:50
[開催時間] 10:00～17:00
6月16日(金)[開催時間] 10:00～17:00
6月17日(土)[開催時間] 10:00～16:00

会 場：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール及び屋外展示場
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1

出展内容：(1)自動車整備検査機器、工具、車体整備機器、電装整備機器、
塗装機器、洗車洗浄機器及び関連機器
(2)自動車整備事業所が使用するハードウェア、ソフトウェア
及び関連商品

主 催：一般社団法人日本自動車機械工具協会
URL <https://www.jasea.org/autoservice.html>

後 援：国土交通省
経済産業省
独立行政法人自動車技術総合機構
軽自動車検査協会
一般社団法人日本自動車整備振興会連合会
一般社団法人日本自動車機械器具工業会

協 賛：27団体13社

入 場 料：一般1,000円/学生500円(消費税込/登録制)
※WEB事前登録者及び中学生以下は無料。

<https://www.jasea.org/autoservice.html>

併催行事：自動車整備セミナー 等

※「オートサービスショー」は一般社団法人日本自動車機械工具協会の登録商標です。



第37回 オートサービスショー2023 自動車整備セミナー

6月15日(木)	
第1講座【特別講演1：無料】	11:00～12:00 自動車整備行政の現状と今後の取組み(仮) 国土交通省 自動車局 整備課
第2講座【特別講演2：無料】	13:00～14:00 自動車産業政策に係る最近の取組み(仮) 経済産業省 製造産業局 自動車課
第3講座(有料講座：¥3,000)	14:30～16:00 「なぜ専業工場がEDRデータを解析する資格を取得したのか」 杉戸自動車 代表取締役社長 泰楽 秀一 氏
6月16日(金)	
第4講座(有料講座：¥3,000)	10:30～12:00 シニアの活用で人材不足を解決 高齢者を雇用するポイントとは 株式会社シニアジョブ 代表取締役 中島 康恵 氏
第5講座(有料講座：¥3,000)	13:00～14:30 電子制御装置整備施行に伴う整備範囲の選択と地域共創整備実現にむけて 一般社団法人 日本技能研修機構(JATTO) 代表理事 石川 明男 氏
第6講座(有料講座：¥3,000)	15:00～16:30 電子制御装置整備とOBD検査 一現状・展望・予測一 プロジェクトD 記者 泉山 大 氏

ホームページから 来場案内、セミナー情報 よりお申込みください。
●受講料：第3～第6講座、1講座あたり3,000円(税込)
●会 場：東京ビッグサイト東2ホール特設セミナー会場
●定 員：各講座とも80名(事前申込みは先着順とします)
* 講座内容、講師など都合により当日変更になる場合もありますのであらかじめご了承ください。(最新情報はホームページをご参照ください。) <https://www.jasea.org/autoservice.html>



出 展 者 リ ス ト

あ行	嵯峨電機工業株式会社 株式会社サンオータス 株式会社三協リール 株式会社サンコー 株式会社アバント アベテック株式会社 株式会社アルティア 安全自動車株式会社 アンデックス株式会社 株式会社イー・エヌドゥ コーポレーション 株式会社イース イサム塗料株式会社 株式会社 イスコ 株式会社イヤサカ 株式会社インターサポート 株式会社栄和製作所 有限会社イー・アイ・エス 株式会社エーティティ NCC株式会社 エムケー精工株式会社 オーテック・インテリジェント・ テクノロジー株式会社 小野谷機工株式会社	搬水道場 株式会社バンザイ BASFジャパン株式会社 株式会社ビッグ 株式会社ヒラネ 株式会社fenix japan 不二空機株式会社 有限会社プレイングオート プレミアムソフトプランナー株式会社 プロステップ株式会社 株式会社ハッセル ヘンケルジャパン株式会社 ボッynch株式会社
ま行	大同興業株式会社 大日本塗料株式会社 株式会社WTB ワタバコーポレーション TARO'S WORKS株式会社 株式会社ツールプラネット ディーアイシージャパン株式会社 テクノワールズ株式会社 デンゲン株式会社 株式会社デンソー 東販販売株式会社 株式会社東日製作所 株式会社東洋エンタープライズ	ま行 株式会社マサダ製作所 株式会社マツキ マルマテニカ株式会社 ミルウォークーツール・ ジャパン合同会社 株式会社ムサシ トレイディングオフィス 明治産業株式会社/ マートレーディングジャパン株式会社 株式会社モナーク ハバカジャパン
か行	有限会社カーメイクアートプロ カイセ株式会社 関西ペイント株式会社 京都機械工具株式会社 株式会社空研 株式会社グラスウエルドジャパン 株式会社グリーンテックジャパン 軽自動車検査協会 ケネテック株式会社 江東産業株式会社 光明理化学工業株式会社 興和精機株式会社 国際オートアフターマーケット EXPO運営事務局 国土交通省 超原ツール株式会社	や行 株式会社山下工業研究所 株式会社ヤマダコーポレーション ヤマト自動車株式会社 株式会社ユーコーコーポレーション ユニラムジャパン株式会社
さ行	長崎ジャッキ株式会社 日平機器株式会社 日本整備株式会社 日本イベント株式会社 一般社団法人 日本自動車機械器具工業会 一般社団法人 日本自動車機械工具協会 日本自動車整備商工組合連合会 一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会 株式会社 日本ベンチャー ネキスト株式会社	ら行 LAUNCH TECH Co., Ltd 株式会社リークラフ・ジャパン 株式会社ロイヤル化学研究所 株式会社ローンチ オートマーケティング ロシェル株式会社 ロックイベント株式会社
ざ行	埼玉精機株式会社	は行 株式会社ハスコー

出展者数：96社・7団体
(出展者数・名称は2023年2月24日現在)

第37回

オートサービスショー 2023、開催



「ヒトとクルマの未来を守る整備機器」



オートサービスショー委員会
中谷宗平 委員長

整備事業者が抱える事業課題

これに対するソリューションを提案

車検証電子化、特定整備認証制度、OBD検査と、自動車整備を取り巻く環境が大きく変化する中で開催される第37回オートサービスショー 2023。その見どころについて、中谷宗平委員長に聞いた。

テーマを選んだ背景とその狙いについて

人と自動車の安全や未来を守るために、機器メーカーの技術者たちが、日ごろの開発の成果を披露し、販売各社が有用な機器の普及に努めることによって、最新の整備機器を使用した自動車整備に取り組む整備士が増えて、安心安全な車社会を作ることで、人々の生活や未来を守りたいという思いが込められている。ここで言う「人」とは社会の人々を指しているが、昨今だんだん少なくなっている自動車整備士という「人」のことも表していて、そういった方々とともに車社会を守っていく。こういった意味を持っている。

自動車整備セミナーの内容について

例年と大きく変わることはないが、

多くの方々に参加いただくため、整備事業者が抱えている問題点などからピックアップした。特に電子制御装置整備や、2024年から施行されるOBD検査について3講座、そして人材の確保について1講座を設定した。さらに今回も国土交通省及び経済産業省の2講座を無料で、他の4講座を有料で開催する。

今回の開催にける意気込み

お客様である整備事業者が事業を継続するに当たって、こなしなければいけない様々な課題がある。今年から車検証の電子化であるとか、来年以降は特定整備、そしてOBD検査が始まる。そもそも日本は人口減少、人手不足、さらには車齢がだんだん長期化していく。また、事業者として見れば、カーボンニュートラルの取り組みも出てくるだろう。

さらに、車も内燃機関からすぐにすべての車がEVや燃料電池に変わるわけではないので、様々な車に対応していく技術を持ち合わせなければならない。そういったことを含めて、過去と比べても整備事業者が直面する事業課題がかなり多いのではないかと考えている。その点で、我々は出展社にそういった課題に対するソリューションをぜひとも多く展示していただきたいと期待している。

来場者へのメッセージを

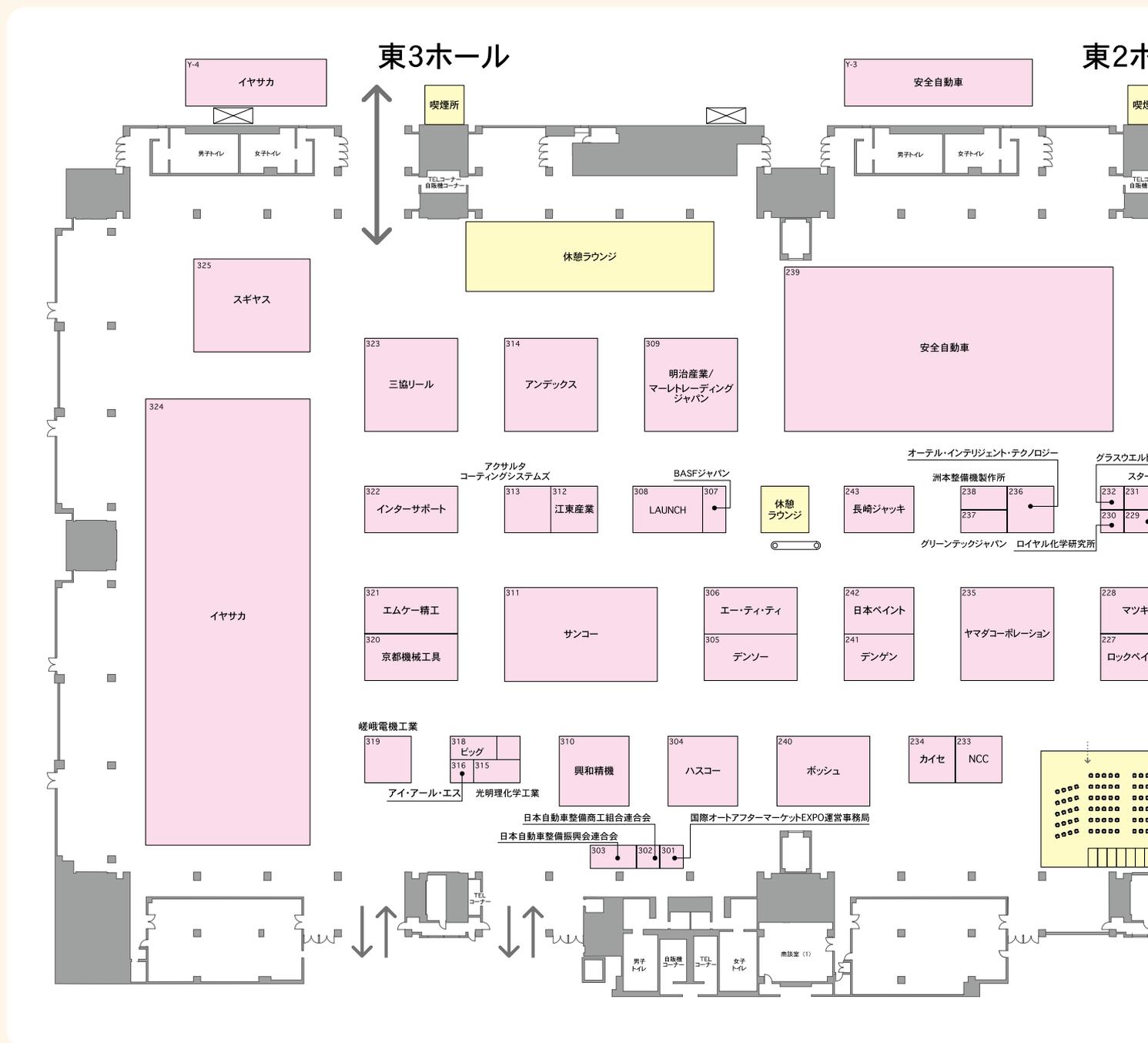
オートサービスショーは、日本最大の整備機器の展示会である。整備機器の製造販売に携わる企業の我々が一堂に会し、自動車整備業界のニーズや整備技術の高度化、省力化に対応する整備関連機器、システム等を多くの皆様にご案内いただく場であると考えている。コロナ禍により、今回は4年ぶりの開催となる。最新鋭の整備の実演展示に加え、OBD検査に向けた情報発信を行うなど、とにもかくにも様々な課題に対するソリューションというのが、各社から出品されることになると思う。ぜひ、会場に来ていただいて、情報収集をしていただきたい。

第 37 回オートサービスショー 2023

テーマ **人とクルマの未来を守る整備機器**

開催期間 **6月15日(木)** 開会式 9:30~9:50 開催時間 10:00~17:00
6月16日(金) 開催時間 10:00~17:00
6月17日(土) 開催時間 10:00~16:00

会場 東京ビッグサイト [東京国際展示場] 東1・2・3ホール及び屋外展示場

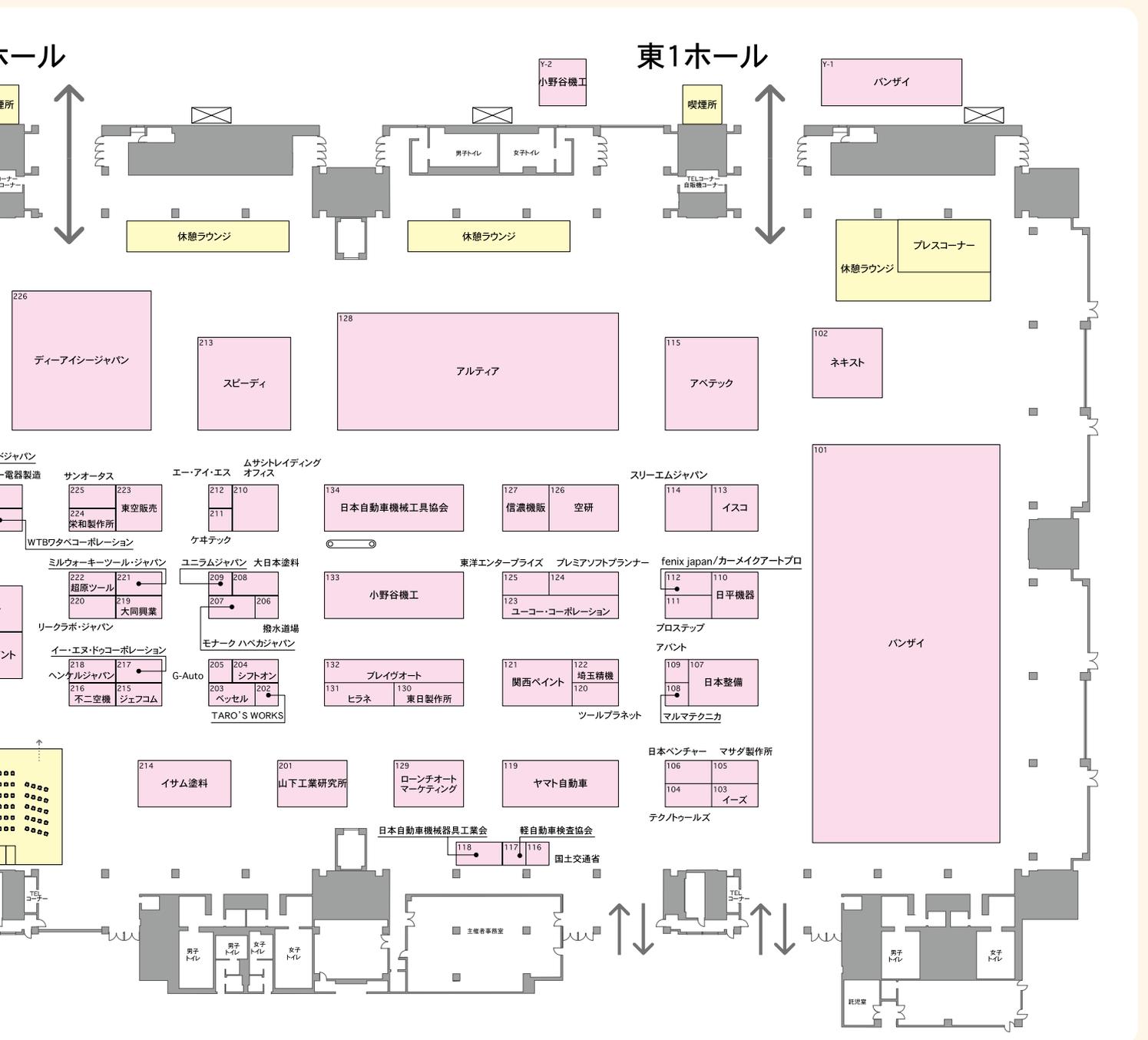


会場案内図

入場料 一般：1,000円、学生：500円（消費税込）
 ※事前登録者及び中学生以下は無料

主催 一般社団法人日本自動車機械工具協会

後援 国土交通省、経済産業省、独立行政法人自動車技術総合機構、軽自動車検査協会、
 一般社団法人日本自動車整備振興会連合会、一般社団法人日本自動車機械器具工業会





第37回オートサービスショー2023の見どころ

一般整備

特定整備、OBD検査、省力化への対応が 不可避

自動車整備業の指標 ほぼすべてが減少傾向

先ごろ、自動車特定整備業実態調査の結果に基づく「令和4年版 自動車整備白書」が発行された。この中で自動車整備業の主要な指標が分かる「自動車整備業諸表」を紐解いてみる

と、総整備売上高は5兆7,388億円という近年希に見る高水準を記録した。

企業数及び事業場（工場）数は前年度こそ上回ったものの、5年前と比較して減少した中で、この売上高というのは、各社・各工場の努力の賜物と言って良いだろう。カギを握ったのは指定工場と見られ、5年前こそ3万工

場を下回っていたものの、多少の増減を繰り返しながらもここ5年間では最多の工場数を数えた。

一方で気がかりなのは、人材面である。整備関係従業員数こそ54万7,332人とこの5年間で過去最多となったものの、整備要員（工員）数はおおむね横ばいで推移している。最も気がかりなのは整備要員に占める自動車整備士の数で、前年割れはおろか、過去5年間で最低の33万1,681人となっている。

特定整備認証制度経過措置 終了まで1年を切り OBD検査も控えるが……

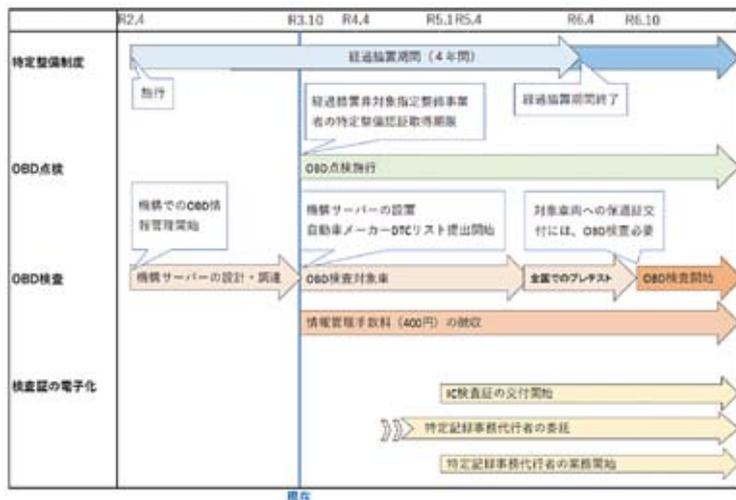
ただでさえ人材不足は事業場経営の根幹にかかわる大きな課題であるところに加えて、オートサービスショー開催から10ヵ月足らずで特定整備認証制度の経過措置が終了、本格的に電子制御装置整備時代がスタートする。

仮にその場をしのいだとしても、また半年後にはOBD検査がスタートする。人材が欠けたままその時を迎えることは考えにくく、近年にも増して人材確保は喫緊の課題であると言える。

一方で、先ほど「直近5年間で最高の総整備売上高を記録したのは指定工場がカギを握っていた」としたが、指定工場として実は安泰ではない。国土交通省の発表によると、本年3月末の時点で、従来の分解整備のみの状態から分解整備+電子制御装置整備いわゆるパターン3への変更申請をした件数（工場数）は全国合計で約42,000件。都道府県ごとに見ると申請件数が指定工場数を下回っている都道府県・運輸支局管轄地域が実はまだ数ヵ所あるのだ。

釈迦に説法かもしれないが、特定整

検査・整備に係る今後の主なスケジュール(予定)



自動車整備業の諸表

出典：日本自動車整備振興会連合会「令和4年度版自動車整備白書」

項目	調査年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2022÷2021
総整備売上高(億円)		54,875	55,295	56,216	56,561	55,510	57,388	103.4%
専・兼業 (比率、%)		26,558 (48.4)	26,077 (47.2)	26,274 (46.7)	26,650 (47.1)	26,757 (48.2)	27,677 (48.2)	103.4%
	専業 (比率、%)	19,947 (36.3)	19,364 (35.0)	19,444 (34.6)	19,854 (35.1)	20,144 (36.3)	21,146 (36.8)	105.0%
	兼業 (比率、%)	6,611 (12.0)	6,713 (12.1)	6,830 (12.1)	6,796 (12.0)	6,613 (11.9)	6,531 (11.4)	98.8%
ディーラー (比率、%)	26,147 (47.6)	26,927 (48.7)	27,672 (49.2)	27,749 (49.1)	26,419 (47.6)	27,340 (47.6)	103.5%	
自家 (比率、%)	2,170 (4.0)	2,291 (4.1)	2,270 (4.0)	2,162 (3.8)	2,334 (4.2)	2,371 (4.1)	101.6%	
企業数		73,083	73,018	72,845	72,523	72,214	72,370	100.2%
事業場(工場)数		92,001	91,883	91,605	91,533	91,454	91,711	100.3%
指定工場数		29,983	30,075	30,087	30,085	30,083	30,104	100.1%
整備関係従業員数(人)		534,279	535,418	536,493	539,086	544,670	547,332	100.5%
整備要員(工員)数(人)		399,717	399,374	399,135	399,218	398,952	399,619	100.2%
	うち整備士数(人)	336,360	338,438	336,897	339,593	334,319	331,681	99.2%
	整備士保有率(%)	84.1	84.8	84.4	85.1	83.8	83.0	—

備（電子制御装置整備）未認証の指定工場は、対象車両が自社に入庫したとしても2024年4月以降は保安基準適合証が交付できない。すなわち、このままでは指定工場としての機能が十分に果たせないのだ。

しかも、変更申請件数が指定工場の数を上回っているからといって、すべての指定工場がパターン3の認証を取得しているとは限らず、何より全国約9万2千工場ある特定整備認証工場のうち、まだその半数にも満たない申請件数であるということは、電子制御装置整備未認証の工場のほうがまだまだ多数派というわけである。

特定整備（電子制御装置整備）、OBD検査、省力化への対応機器に注目

今回4年ぶりの開催となるオートサ

ービスショー。この4年間はほぼコロナ禍とともにあった期間であり、同時に特定整備の経過措置期間ともほぼイコールであったとも言える。

この期間はもちろん、事業者の準備期間として当てられたものだが、各関連機器メーカーにとっても開発期間としては充分なものがあり、スキャンツールもエイミング作業に活用できるタイプが続々と登場しているのはもちろんのこと、OBD検査への対応も視野に入れたタイプもお披露目になる可能性が高い。

また、エイミング作業の前段階でネックとなる、車体の中心線を短時間・少人数で導き出せるようなサポートツールも各社から出そろっている。

さらに、電子制御装置整備の前には必要不可欠と言える、ホイールアライメントテスターも進化を遂げており、各ホイールに測定器を取り付けて……

といったものから、決められたエリアに車両を乗り入れるだけ、あるいは車両を通過させるだけでアライメントが測定できるという、タッチレス（非接触式）タイプのアライメントテスターも本展示会で一堂に会する模様なので、各社を比較検討するのも良いだろう。

他にも、大きな力を必要とせずとも大型車のタイヤを上げ下ろしできるタイヤリフター、全自動でタイヤ交換が行えるタイヤチェンジャー、身体的負荷を軽減しながら手洗い洗車が楽に行える洗車ツール、OBD検査との連動も見据えた電子車検対応の整備システムなど、省力化・効率化に関するツールやシステムなども見逃せない。ショーの会期中に会場にて初披露という商品も数多く控えていると予想できるので、ぜひ会場に足をお運びいただきたいところだ。

(八木正純)



第37回オートサービスショー2023の見どころ

塗装関連機器

補修塗装の仕上がり品質に影響する 設備の高機能化に注目

加湿機能などの水性対応ブースの 機能ラインアップが増加

钣金塗装工場では依然として溶剤系塗料の使用率は高いが、環境負荷の軽減や技術者への健康被害を考慮し、溶剤系から水性塗料へ切り替える工場は増加している。補助金を活用し、塗

料とともに塗装ブースなどの塗装設備を一新し、水性対応が可能なものにするといった話も今では一般的となった。

それに伴い、塗装ブースなどの高価な設備を新規または代替導入する際には、ハイスpek的な製品を検討するケースが多い。そもそも塗装ブースは一度導入すると不具合などがない限

り、10年以上は使用する。つまり、急な故障ではない限り、塗装ブースの購入を考えている経営者は工場の長期的な事業継続を考えているケースが多い。そして、将来性を考えると水性対応をはじめとした高機能ブースの検討を視野に入れるのは想像に難くない。

特に水性塗料は冬場の寒く乾燥した塗装環境では、早く乾燥してしまうため、乾燥時間が十分に確保されず塗膜がざらつきやすい。塗料の進化や循環式の効率的な乾燥モードを搭載したブースの登場により、以前より乾燥時間の課題は減っている。しかし、加温機能だけでは乾燥時にブース内の湿度が低下し、仕上がり品質に良くない影響を与えかねない。そのため、今後加湿機能へさらに注目が集まるのではないだろうか。

またマスクングやフラッシュオフなどの作業工程に適したモードを搭載したブースや、車の塗装箇所や塗装する塗料の種類を選択すると、塗装ブースの運転サイクルを自動設定するタイプもある。メンテナンス面では、排気・給気フィルターの交換時期が来るとセンサーが異常を感知して、サポートセンターと連携し、メンテナンスが受けられる機能を搭載したブースも増えつつあ



湿度コントロールだけでなく、カスタムで横からの搬入も可能なブースも増えている



後付けの乾燥システムは既存のブースに設置できる乾燥装置

る。また、作業の効率化のため、塗装ブースで床に集塵装置をつけたプレッブブースの導入も近年進められている。

乾燥機は、今後自動制御による設定温度の管理が必須

以前より、特化則対応のスチレンフリーパテがメーカー各社から発売され、その対応製品に関心が集まっている。スチレンフリーパテはメーカーの指定する温度で一定時間の加熱（強制乾燥）が必要なため、対応した乾燥機には、非接触タイプの温度計測システムと自動温度制御などの機能が搭載されていることが多い。設定温度に達している時間だけ加熱できるため、硬化不良を低減する。また、フィラメントに使用される炭素純度を上げ、赤外線の放射効率を高めた省エネ型のヒーターもある。

PPバンパー補修の際などでも、これらの非接触タイプの正確な温度管理ができる乾燥機は便利である。作業中に冷えて固まったり、加熱し過ぎるリスクも少ない。今後、EVの駆動バッテリー近辺の補修塗装でも、温度設定ができる乾燥機のほうがバッテリー劣化の心配をしなくて済むだろう。

塗装ブース内に後付けできる乾燥シ

ステムもある。壁面と天井に赤外線ランプを設置し、塗装面積や補修個所に応じて該当する部分だけに照射ができる。温度センサーによる設定温度の制御や管理により、水性塗料の乾燥時にも効率的な運用ができるだろう。

高難度塗色対応のガンが 続々登場

カラークリヤーメタリック塗装にも対応可能なスプレーガンがメーカー各社から上市され、販売価格も物価上昇で若干の値上がりは見られるが、手に入しやすい価格帯となっている。

近年ボデーカラーのバリエーションが増加し、彩度や色相差の幅が従来よりも広がっており、それに伴って、補修塗装の難易度は高くなっている。そのため、ガンに要求されるスペックも従来とは異なる。

たとえば、カラークリヤーメタリックであれば、薄い膜厚を広く均一に塗れるかが重要となる。塗り重ねる層の量によって色味が変化するため、パターン内の軌跡ムラが目立ってしまう。特に、標準パターンである楕円形状では塗り重ねると中央部で厚膜になりやすいため、フラットパターンで塗装できる

ことが望ましい。また、塗膜に吹き付ける塗料ミストの粒子径が整っていることも条件となる。吹き付けた時の粒子分布が均一でなければメタルがムラになりやすい。

これまでは、エア消費を抑えつつ塗料の吐出量を下げないことで、塗着効率を高めるガンが主流であった。しかし、薄く平滑にメタル顔料を寝かせながら塗装しなくてはいけない、カラークリヤーメタリックの補修機会が増えたこと、さらには現場の人手不足のため、熟練技術者でなくとも、ある程度の塗装技術があれば失敗しにくいガンの需要が高まったことが、整った粒子径の塗料ミストを吐出し、粒子分布が均一で、薄く塗装できる仕様のガンの市場投入を加速させたようだ。

また近年普及が見られるのが、スリーエムジャパンのPPSシステムに代表される塗装用カップシステム。フィルター内蔵により調色から塗装作業まで、一つのカップで可能となっている。スプレーガンへの装着には、ガンの種類ごとに専用のアダプターが必要だが、作業の効率化に寄与するアイテムであるため、一度手にとってみてほしい。

(木下慶亮)



天吊り式の乾燥機で工場内の作業スペースを有効活用する



スプレーガンの設定調整や、塗装面との距離によってもパターンは変化する。ガンの性能に加え自分なりのセッティングも重要



第37回オートサービスショー2023の見どころ

副資材・カーケア

作業性・収益性のアップに直結するアイテムが目白押し

ポイントは労働安全衛生対策と作業効率化

自動車補修市場において副資材は、単価の安い消耗品が占めるが、钣金塗装作業に欠かすことのできない製品ジャンル。ここでは研磨材、シーリング材、磨き関連の傾向を紹介する。

・研磨材

車体修理の現場では、塗膜はく離など研削力の高い80番や120番、面出し研磨に使う180番、240番、足付



け研磨の400番、800番などが主要番手として挙げられるが、近年では8000番や10000番などの高番手の研磨材が登場している。どちらかと言えば、研磨というよりも磨きに近く、ゴミ・ブツ取り後の仕上げなどに用いられている。

また、研削力だけでなく、作業性や耐久性の観点から目詰まりやカラミを防ぐ工夫が施されたものや、高硬度の砥粒を採用し、硬い塗膜に対して研削性を高めたものも登場している。

今回、研磨材の製品ジャンルからはスリーエムジャパンが出展。「キュービトロンII」、「ブルー」のブランドからしなやかで吸塵性に優れたメッシュ基材を使用した「ネット研磨材」が出品されるほか、作業者ならびに作業環境の労働安全衛生対策をソリューションする「クリーンサンディングシステム」が提案される予定。

・シーリング材

ドアパネルなどパネルの継ぎ目に充填するシーリング材も進化を遂げている。新車製造時と同等に復元するため、ホワイトが主流だった色もブラック、ベージュ、グレーなどカラーラインアップが増えたほか、容易にさざ波模様成形できる専用ガン、様々な形状のノズルが用意されている。

また、特化則非該当のシーリング材が登場。耐チッピング塗料やアンダーコートなどにも特化則非該当の製品が数々、市場に投入されており、労働安全衛生面への対応が今後のキーワードとなるだろう。

耐チッピング塗料・アンダーコートでは、イー・エヌ・ドゥコーポレーションが同社ブランド「ENDOX」の耐チッピング塗料「UBC-ST2900」やアンダーコート「UBC-HB2700」のほか、シーリング材、防錆剤、接着剤、各種ガンなどを展示、紹介する。

・磨き関連

車体修理業界において常に関心度が高く、いかに速くきれいに仕上げられるかが問われる磨き関連製品。オーロラマークが発生しやすい濃色車の磨きはこの業界の永遠のテーマと言え、加えて昨今では、トヨタ・セルフリストアリングコートなど自己修復型クリヤーや、外資系塗料メーカーに多い硬化剤比率2：1の塗膜が硬いクリヤーへの磨きが課題に挙がる。

ケキテックは、日産スクラッチシールドを塗布したボンネットを用い、1工程目にウルバフ・細目コンパウンド・シングルポリッシャー「MaiIII」で磨いた傷を、低反発発泡スポンジバフ・極細目コンパウンド・ランダムアクションポリッシャー「ToiZII」の2工程で仕上げる磨き作業を披露する。

テクノツールズは、ルペス社ビッグフットシリーズの最新コードレス小型ダブルアクションポリッシャー「iBrid mini-HLR75」と、プロテクション・メンテナンスポリッシュという新たな発想を提案する「ウノ・アドバンス」を出品。このほか、多種多様な技術者のニーズに応える製品ラインアップを紹介する。

磨き関連製品市場においては、コンパウンド・バフ・ポリッシャーを一つのシステムととらえた独自工法がメーカー各社から提案されるほか、新たなプレイヤーが市場に参入するなど群雄割拠の様相を呈している。引き続き、その動向から目が離せない。

高級輸入車オーナーを取り込むアイテムに注目が集まる

売り上げ単価のアップや新規顧客の開拓につながるカーケアアイテムには、以前から高い関心が寄せられていたが、近年、高級輸入車オーナーにターゲットを絞った商材に熱い視線が注がれている。

その背景には、半導体不足の影響から新車販売台数が落ち込む中であって、高級輸入車の販売が堅調に推移していることが挙げられる。右のグラフは、販売価格2,000万円超の高級輸入車4ブランドにおける直近4年間の新車販売台数の推移。国産乗用車メーカーが軒並み台数を減らしている中、高額ながら販売台数を維持し、フェラーリにいたっては年々、販売台数を伸ばしている。また、メルセデス・ベンツやBMW、アウディなどの輸入車ブランドは販売台数を減らしているものの、ハイクラスの車種に限っては、好調な販売を見せている。

このような高級輸入車をターゲット

にした商材で流行の兆しを見せているのが、ボデーを傷や飛び石から守るプロテクションフィルム。新車購入時に施工するのが一般的で、施工価格はフロントのみで約60万円、フルラッピングで約200万円に上り、そのほとんどが工賃売り上げになるのが魅力。

今回の出展者からは、Fenix JAPANがスプレータイプのプロテクションフィルム「Fenixスクラッチガード」を出品する。ボデーの保護はもちろん、多層構造の塗膜が生み出す深いツヤと輝きに加え、施工の難しいグリルやホイールなどにも継ぎ目のない美しい仕上がりが得られる。

今や新車購入時に定番となったボデーコーティングにおいても、高級車向けのアイテムがそろそろ。カーメイクアートプロの「FEYNLAB HEAL PLUS」は、アッパークラスのカーオーナーをターゲットにしたボデーコーティング剤。最大15μmの厚いコーティング被膜が深いツヤと光沢を与え、さらに自己修復機能を併せ持つ。

さらに、欧州車のアルミモールの研磨に特化したグラスウエルドジャパンの「ダイヤモンドポリッシュ」も注目製品のひとつ。従来の研磨剤では落とすことが難しかった白サビやシミをモールを傷付けることなく容易に落とし、再び新車時の輝きを取り戻す。

このような高級車向け商材に限らず、鍍金塗装工場のサービスメニューの拡大に寄与するカーケアアイテムも多数紹介される見込み。

イサム塗料は、特殊ウレタン樹脂をベースとした2液型塗料「ベッドライナービースト」を出品。専用シュツツガンで吹き付けることでボデーやバンパーに意匠性と耐久性を与え、オリジナリティー溢れる新しい塗装スタイルを提案する。

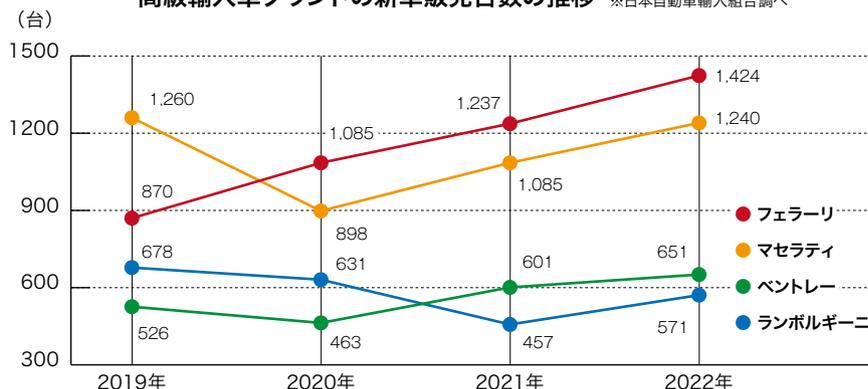
ビッグはデモカーを持ち込み、独自のアイデアが詰まった製品を多数紹介。カーケア関連では、代表製品の最終仕上げ剤「黄金塗膜シリーズ」やヘッドライトの曇り・黄ばみを除去する「レンズスカット」、マスキングが不要な未塗装樹脂復元コート「ブラックリカバリー」に注目が集まる。

撥水道場は、簡単な施工ながら長期間効果が持続するボデーコーティング剤「ハイブリッドコートZERO」をはじめ、ガラス洗浄剤「ウロコ落としZERO」、ウィンドウコーティング剤「ピュアコートZERO」などを出品する。

上記出展者以外からも様々なカーケア関連製品が展示、紹介されることが予想され、ぜひ会場に足を運び、その目で確かめてもらいたい。

(長谷川明憲)

高級輸入車ブランドの新車販売台数の推移 ※日本自動車輸入組合調べ



第37回 オートサービスショー2023 出展者リスト

出展者名	小間番号	
	屋内	屋外
株式会社アイ・アール・エス	316	
アクサルタコーティングシステムズ合同会社	313	
株式会社アバント	109	
アベテック株式会社	115	
株式会社アルティア	128	
安全自動車株式会社	239	Y-3
アンデックス株式会社	314	
株式会社イー・エヌ・ドゥコーポレーション	217	
株式会社イーズ	103	
イサム塗料株式会社	214	
株式会社イスコ	113	
株式会社イヤサカ	324	Y-4
株式会社インターサポート	322	
株式会社栄和製作所	224	
有限会社エー・アイ・エス	212	
株式会社エーティティ	306	
NCC株式会社	233	
エムケー精工株式会社	321	
オーテル・インテリジェント・テクノロジー株式会社	236	
小野谷機工株式会社	133	Y-2
有限会社カーメイクアートプロ	112	
カイセ株式会社	234	
関西ペイント株式会社	121	
京都機械工具株式会社	320	
株式会社空研	126	
株式会社グラスウエルドジャパン	232	
株式会社グリーンテックジャパン	237	
軽自動車検査協会	117	
ケキテック株式会社	211	
江東産業株式会社	312	
光明理化学工業株式会社	315	
興和精機株式会社	310	
国際オートアフターマーケットEXPO運営事務局	301	
国土交通省	116	
超原ツール株式会社	222	
埼玉精機株式会社	122	
嵯峨電機工業株式会社	319	
株式会社サンオータス	225	
株式会社三協リール	323	
株式会社サンコー	311	
G-Auto Co., Ltd	205	
ジェフコム株式会社	215	
信濃機販株式会社	127	
株式会社シフトオン	204	
株式会社スギヤス	325	
スター電器製造株式会社	231	
株式会社スピーディ	213	
株式会社洲本整備機製作所	238	
スリーエムジャパン株式会社	114	
大同興業株式会社	219	
大日本塗料株式会社	208	

出展者名	小間番号	
	屋内	屋外
株式会社WTBワタベコーポレーション	229	
TARO'S WORK株式会社	202	
株式会社ツールプラネット	120	
ディーアイシージャパン株式会社	226	
テクノツールズ株式会社	104	
デンゲン株式会社	241	
株式会社デンソー	305	
東空販売株式会社	223	
株式会社東日製作所	130	
株式会社東洋エンタープライズ	125	
長崎ジャッキ株式会社	243	
日平機器株式会社	110	
日本整備株式会社	107	
日本ペイント株式会社	242	
一般社団法人日本自動車機械器具工業会	118	
一般社団法人日本自動車機械工具協会	134	
日本自動車整備商工組合連合会	302	
一般社団法人日本自動車整備振興会連合会	303	
株式会社日本ベンチャー	106	
ネクスト株式会社	102	
株式会社ハスコ	304	
撥水道場	206	
株式会社バンザイ	101	Y-1
BASFジャパン株式会社	307	
株式会社ビッグ	318	
株式会社ヒラネ	131	
株式会社Fenix JAPAN	112	
不二空機株式会社	216	
有限会社ブレイヴオート	132	
プレミアソフトプランナー株式会社	124	
プロステップ株式会社	111	
株式会社ベッセル	203	
ヘンケルジャパン株式会社	218	
ポッシュ株式会社	240	
株式会社マサダ製作所	105	
株式会社マツキ	228	
マルマテクニカ株式会社	108	
ミルウォークーツール・ジャパン合同会社	221	
株式会社ムサシトレイディングオフィス	210	
明治産業株式会社/マーレトレーディングジャパン株式会社	309	
株式会社モナーク ハベカジャパン	207	
株式会社山下工業研究所	201	
株式会社ヤマダコーポレーション	235	
ヤマト自動車株式会社	119	
株式会社ユーコー・コーポレーション	123	
ユニラムジャパン株式会社	209	
LAUNCH TECH Co., Ltd	308	
株式会社リークラボ・ジャパン	220	
株式会社ロイヤル化学研究所	230	
株式会社ローンチオートマーケティング	129	
ロックペイント株式会社	227	

2023年4月28日時点

タッチレスホイールアライメントテスター「アルゴス」 カメラ方式アライメントシステム「トラックカム」

安全自動車は「お客様の安全・安心をサポート」をテーマに、整備工場の優先課題となっている5つ、①効率化（生産性向上）、②コンプライアンス（労働安全衛生／完成検査業務）、③省力化／負担軽減（人材不足の解消／働き方改革／労働環境の改善）、④次世代車両（EV対応）、⑤環境（SDGs／カーボンニュートラル／モビリティサービス）を掲げ、これらを解決する製品や半歩先の提案を展開する。

数ある展示商品の中でも、本格施行まで1年を切った特定整備（電子制御装置整備）に関する機器で、小型車用にはカメラを搭載した4本の柱の

内側に車両を乗り入れるだけで自動車のアライメント測定が可能なタッチレス（非接触式）ホイールアライメントテスター「アルゴス」、大型車用には高い耐久性の赤外線カメラセンサーを採用し、短時間で高精度なアライメント測定が可能なカメラ方式アライメントシステム「トラックカム」に注目が寄せられる。以上を含めた約80点の商品を、



アルゴス



トラックカム

整備スツールに即した展示形式で、実際の活用シーンをイメージしやすい提案を行う。

安全自動車

オートサービスショー出展小間番号

239 / Y-3

問い合わせ先

東京都港区芝浦 4-16-25
TEL. 03-5441-3415
<http://www.anzen.co.jp>

クイックチェックドライブ／クイックレッドエッジ

車検ビジネスコーナー、フットワークコーナー、EV・HVコーナー、BPコーナー、大型車ビジネスコーナー、ハンターコーナー、洗車コーナー（屋外展示）の7コーナーで、自動車整備業界の各種課題解決へ向けた製品・サービスを提案する。

フットワークコーナーから独立して設置されたハンターコーナーでは、ハンター社の世界中で認められている革新的で高品質な製品を展示・実演。

「クイックチェックドライブ」は、機器の間を通過した車両のトータルトールとキャンバを非接触で自動診断するスクリーニング装置。ナンバープレートを読み取るカメラシステムと組み合わせ

ることで、車両の管理に役立てることができる。

「クイックレッドエッジ」は、車両通過時にタイヤの異常摩耗と溝の深さを自動診断するスクリーニング装置。

クイックチェックドライブとクイックレッドエッジを組み合わせることで、入庫時のアライメントチェックやタイヤ診



イヤサカ

オートサービスショー出展小間番号

324 / Y-4

問い合わせ先

東京都文京区湯島 3-26-9
TEL. 03-3833-6111
FAX. 03-5688-7061

断の省力化及び効率化、顧客に対する提案力の向上を図ることができる。

AUTOWAY LOOP/タイヤピット

「AUTOWAY LOOP」は輸入タイヤ及びホイールを販売する、タイヤネット通販No1サイト（日本マーケティングリサーチ機構調べ。調査概要：2022年3月期指定テーマ領域における競合調査（国内）において、タイヤネット通販累計・年間販売本数で1位を獲得）。サマー及びスタッドレスタイヤ、ホイールを、装着車種、タイヤサイズ、ブランドから検索することが可能で、オールシーズンタイヤやアウトレツト品も販売する。取り扱いブランド

は、タイヤ：ナンカン、ファイナリスト、ダヴァンティなど、ホイール：ヴェルザンディ、ラグザレス、キルヒアイスなど。

「タイヤピット」はタイヤの交換・取り付け・販売店を検索することができるポータルサイト。自動車整備工場においては、タイヤピットに取り付け店舗として加盟することで、新規顧客の獲得が期待できる。またタイヤピットを通じて接点を持った顧客に対し、自社キャンペーンや車検などを案内する



オートウェイ

問い合わせ先
タイヤピット事業部
福岡県京都郡苅田町苅田 3787-62
TEL. 093-435-5500
<https://www.autoway.jp/>

ことで、固定客の増大につなげることも可能となる。

タイヤピット加盟店は、現在全国で約3,400店舗。加盟店はAUTOWAY LOOPで商品を購入する際、割引を受けることができる。

スタビリンカーブッシュプラー/タイヤリフター/ランプリムーバーほか

京都機械工具は「五感に響くLive型展示」をテーマに、デモ実演や映像などLive感のある展示を中心に行いながら、目の前で実演することで製品の良さを体感できる。

中でも、3月に発売したばかりで中・大型車のスタビリンカーブッシュの交換を、プレス機の所まで運ばずにその場で安全かつ簡単に行えるスタビ

リンカーブッシュプラー（ATSP120他）、足回り整備に必要なツールも整理・収納可能で、電動によるタイヤ昇降機能のおかげでタイヤ交換作業を省力化できるタイヤリフター/タイヤローテーションワゴン（AWL101他）、ヘッドライト、テールランプの取外しリムーバー（ATP7014他）などの自動車整備作業の省力化・効率化を提案す



京都機械工具

オートサービスショー出展小間番号

320

問い合わせ先
京都府久世郡久御山町佐山新開地 128
TEL. 0774-46-4159
<https://ktc.jp>

る。ぜひ注目してほしい。

その他にも、今後発売を控えている製品も展示する予定となっている。

ダイヤモンドポリッシュ

欧州車のアルミモールに雨や経年劣化で付着した白サビやシミを分解し、短時間で汚れを落とす専用洗浄剤キット。独自のダイヤモンド粒子を新たに配合した特殊研磨剤とイオン効果により、従来の洗浄剤では対応しにくかったモールの汚れも容易に落とすことができる。

洗浄剤を施工箇所に塗布し、拭き上げるという簡単な2ステップの作業工程で完了。短時間の手磨きでモール部分をきれいに仕上げるため、従来の約1/3の作業時間で済み、作業の効率化にも貢献する。洗車などのカーディテリングサービスの新たなメニューとしてもラインアップ可能。

キット内容は、洗浄剤（容量：50g）と特殊バフ3枚。



グラスウエルドジャパン

オートサービスショー出展小間番号

232

問い合わせ先

京都府京都市北区上賀茂榊田町 16-1
TEL. 075-721-5789
<https://www.gw-ccj.com>



実演動画公開中



ToiZII/ラスクバフ(S)

「ToiZII」は、特許技術のクラッチ機構を設け、オーロラマークを磨くことで消すランダムアクションポリッシャー「ToiZ」のモーター部の改良強化仕様。

動力伝達の効率化を図ったほか、クラッチには摺動性が大きく、耐熱温度の高い素材に変更、工夫した。また、バフ盤の揺れと振動が少なくなるように改良するとともに、ダブルアクションポリッシャーの欠点である発色性の低下と噛み込んだ傷の入りやすさを改善。熟練技術者の仕上げ用機はもちろん、経験の浅い技術者でも容易に質の高い磨きが手に入る。

ウールバフの研磨力とスポンジバフ

の仕上げ能力を併せ持つ「ラスクバフ(S)」は、低反発発泡樹脂素材のスポンジバフ。塗膜の軟らかい耐スリ傷性クリヤーであればペーパー目消しから仕上げまで、自己修復型クリヤーであれば2工程目の噛み込んだ傷を消し、深いツヤに仕上げる。

会場では、ToiZIIとラスクバフ(S)をはじめ、同社のポリッシャー・バフ・コンパウンドを用い、日産スクラッチシールドを塗布したボンネットへの



ラスクバフ(S)

ケキテック

オートサービスショー出展小間番号

211

問い合わせ先

愛知県西春日井郡豊山町豊場栄 14-1
TEL. 0568-28-2225
<https://keitech.jp/>

磨き作業を実演。同社独自の磨き理論を来場者に余すことなく披露する。



ToiZII

iR-EVO UP(レボアップ)

「iR-EVO UP (レボアップ)」は、既存ブースの壁面に設置することができる中波赤外線乾燥システム。立ち上がり（温度上昇）が早く、ランプが発する波長は塗膜内部に働くため、水性塗料の乾燥時間短縮及び作業品質の向上、エネルギーコストの削減に貢献する。塗装時には赤外線ランプ部分をガラスパネルで覆うことで、ランプへの

ミスト付着を防止。塗装面積に応じて照射エリアの選択が可能であり、温度センサーによる制御で設定温度を維持する。仕様は電源：3相200V、ランプ：IR中波・1.5kW、照明：LED。

さらにスピーディブースでは、ドイツの自補修製品ブランド・CARSYSTEMの技術者によるデモンストレーションや技能実習制度、補助金活用に関する



スピーディ

オートサービスショー出展小間番号

213

問い合わせ先

東京都江戸川区松島 1-24-15
TEL. 03-3654-3221

<http://www.speedy-tool.co.jp/>

る講演など、業界の課題解決に向けた各種セミナーを展開する。

kaiserjp DP-6500KJ/ kaiserjp ALL ROUNDER 200

「kaiserjp DP-6500KJ」はデジタルベクトル回路を搭載し、1,380Wを実現した電子デュアル式ポリッシャー。研磨中のトルクダウンを検知し、自動補正を行うオートコントロール電子モジュールを搭載し、ホコリや研磨粉の流入による電気系統の故障を大幅に防ぐ構造を採用。また、スパイラルギアパーツには最先端特殊技術の高速度鋼を採用し、高速かつハイトルクでの作業を可能にした。重量：約3,100g、無負荷回転数：600-4,800rpm 無段階調整ダイヤル(1-6)、オービットダイヤ：32mm、電源：単相交流100-120V 50/60Hz、電流：最大13.8A、消費電力：1,380W、電

源コード長さ：約3m。

「kaiserjp ALL ROUNDER 200」は、自動車やバイクの未塗装樹脂・ゴム部品・タイヤ・メッキ・サッシュテール・ワイパーアーム・内装部品などのツヤ出しを兼ねた保護剤。未塗装樹脂パーツやタイヤ（ゴム類）など、異なる素材に塗り込んでツヤを出せるため、異なる素材が混在する足回りやエンジンルーム周りの仕上げの時短に効果を発揮する。施工後は撥水効果が得られるだけでなく、リカバリー（除去）



バレット

問い合わせ先

埼玉県入間郡三芳町上富 850-1
TEL. 049-292-9813
<https://www.propolish.net>

も容易。寸法：φ45×205mm（ノズル含む）。

MST-nano

「SMART SERVICE～自動車整備のみらいをデザイン～」をコンセプトに、電動化、自動運転、人手不足などの変化に対応した今後の自動車整備工場の姿を提案する。

「MST-nano」は、電子制御装置整備認証を取得するために必要となる「整備用スキャンツール」、来年10月に開始予定のOBD検査に使用する「検査用スキャンツール」の双方の機能を備えたスキャンツール。車両に接続するVCI、VCIとワイヤレス（Bluetooth）で接続する高耐久タブレットPCで構成されており、車両から離れてもタブレットPCからVCIの操作が可能のため、作業効率化に寄与す

る。

診断車両に対応した項目を自動で表示する「エーミング」機能のほか、カーオーナーに対する車両状態の説明及び点検整備の提案などに活用できる「総合点検結果」、エイミング作業結果を報告する「作業サポートレポート」など、工場の売り上げや顧客満足度の向上につながる各種機能を搭載。国産乗用車8、国産大型車4、輸入車11の計23メーカーに標準対応。

そのほかバンザイブースでは、車検機器コーナー、トータルエイミングコーナー、BEVコーナーでの実演説明など、各種プレゼンテーションを展開する。



バンザイ

オートサービスショー出展小間番号

101 / Y-1

問い合わせ先

東京都港区芝 2-31-19
TEL. 03-3769-6880
FAX. 03-3456-4691



BAT 6120/DAS 3000

「BAT 6120」は、鉛バッテリー及びリチウムイオンバッテリーに対応する自動車整備向けマルチバッテリーチャージャー。

バッテリー充電モード、電源供給モード、バッテリー交換モード、ショールームモードの4つの操作モードを搭載しており、高速充電や最大出力100Aの電源供給機能を提供する。また、USBケーブルを経由してファームウェアのアップデートが可能で、将来のバッテリー技術に対応することができる。バッテリーの公称電圧：12V、最大出力：1,250W、寸法：329×116×433mm、本体重量：8.5kg。

「DAS 3000」はデジタル画像認識

技術を採用した、ADASキャリブレーションツール。豊富なターゲットボードを用い効率的なキャリブレーション作業を実現。

そのほかボッシュブースでは、CDRとBCHR（ボッシュカーヒストリーレポート）を活用した事故歴レポートサービス、CDR+ADASエコシステム、各種技術トレーニング、ボッシュカーサービス（BCS）をはじめとしたワークショップコンセプトなど各種製品・サービスを紹介します。



BAT 6120



ボッシュ

オートサービスショー出展小間番号

240

問い合わせ先

オートモーティブ アフターマーケット事業部
東京都渋谷区渋谷 3-6-7
TEL. 03-5485-6060 (代)
<https://ap.boschaftermarket.com/jp/ja>



DAS 3000

こんなライン状の模様で 困っていませんか？

この浮きたったライン状の模様の原因はポリッシャーの運動の軌跡です。



- ①昼間、晴天の太陽下や夜間、点状の強い光で見える
- ②手で磨いた状態では見えないが、ポリッシャーで磨いた後に見える
- ③黒い色の車で見えて、明るい色の車では見えない
- ④ダブルアクションポリッシャーで磨いても薄くなるが、取れない
- ⑤ダブルアクションポリッシャーで磨くとボケてしまう
- ⑥ダブルアクションポリッシャーで磨くと取れるが、時間が掛かる

オーロラマークと消す能力のあるポリッシャーにまつわる問題点です。

Pol-ZII[®]ですべて解決します！

Pol-ZII[®]

モーターの大トルク化！

Axlrandom[®] アクセルランダムアクション 「オーロラマーク」を磨き消す！

バフに不規則で、大きな回転力を与えるため、バフパッドとモーター出力軸との間にクラッチ機構を設け、摺動しながらトルク伝達できる構造（日本・中国・韓国・アメリカ・ドイツ・フランス・イタリアほかで特許取得）を持ったことで、オーロラマークを強く磨き消すことを可能にしたランダムアクションポリッシャー。

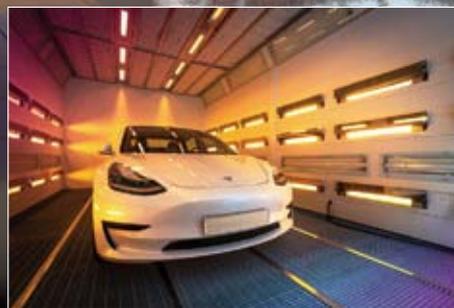
- ①モーター部を大型化して回転トルクを大きくし、伝える力そのものを向上した
- ②動力伝達の効率化を図った。クラッチ間の摩擦が強く働く（円柱側面の平行摺動面）工夫をした（日本と台湾で改良特許取得）
- ③バフを含めた偏心回転盤のアンバランスを少なくし、さらにモーターの慣性力を大きくすることで、バフ盤のゆれと振動を少なくして、バフが塗膜に接触する時間を増やした（バフがバランスの一部のため、専用バフをご使用ください）
- ④クラッチの素材を変更・工夫し、摺動性が大きく、耐熱温度の高いものにした
- ⑤低速・高トルクでバフを回転させるため、特に仕上げ研磨においてツヤが良好になる。そのため、シングル回転ポリッシャーに迫る研磨力を持ちながら、仕上げの深いツヤを実現した

研磨技術を持った人は仕上げ用機として確実に、持たない人でも簡単に熟練のプロの磨きと仕上げ技術が手に入ります。

第37回 オートサービスショー 2023 出展内容のご紹介



EVバッテリー脱着作業対応リフト



iR-EVO UP (レボアップ)

スピーディブース内で各種セミナーを開催



- ・ドイツ・CAR SYSTEMの技術者によるデモンストレーション
- ・技能実習制度セミナー
- ・補助金有効活用セミナー
- ・iR-EVO UP ~乾燥革命セミナー

その他、钣金塗装工場の課題解決につながる各種セミナーを開催します。
ぜひ、ご来場ください。



御問合せ窓口
安全・安心・高品質・時間短縮と人財育成のお手伝い

株式会社 スピーディ

本社 〒132-0031 東京都江戸川区松島1-24-15
TEL 03-3654-3221 FAX 03-3653-8939

営業所 札幌、仙台、名古屋、大阪、福岡

<http://www.speedy-tool.co.jp/>
e-mail:info@speedy-tool.co.jp

SPEEDY

スピーディ販売株式会社

本社 〒132-0031 東京都江戸川区松島1-24-15
TEL 03-3654-2116

FAX 03-3654-3228

営業所 木更津、大宮、厚木、
成田、八千代、富士宮

 公式Instagram



Invented for life



BOSCH

第37回オートサービスショー2023

「ヒトとクルマの未来を守る整備機器」に出展いたします。



新商品のご紹介から、CDRとBCHR（ボッシュカーヒストリーレポート）を活用した事故歴レポートサービス、CDR+ADASエコシステム、各種技術トレーニング、ボッシュカーサービス（BCS）を始めとしたワークショップコンセプトのご案内など、オートサービスショー2023のための特別コンテンツをご用意しております。



開催期間： 6/15（木）～6/17（土）
出展ブース： 240 @東京ビッグサイト
東1・2・3ホール及び屋外展示場



皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



BOSCH

ガラス交換・脱着システム SPIDERシリーズ最新型



SPIDER4

操作性、完成度を追求した 新たなステージへ



✓ ラバーパット(吸盤)がリニューアルされ、グリップ力が向上

✓ 工程がシンプルで1人でも作業可能(作業時間は約15~20分)

✓ 作業前に内張りを外す必要がなく、スピーディー

✓ 本体にファイバーラインを留めるアンカー[※]を搭載し、本体のみでの作業やサイドガラスの取り外しにも対応

※製品に丸がついている部分が、上記特長のアンカーです。

製品用途や利点



エアロパーツやエンブレムの取り外し、モール付きのガラスにも使用でき、切れ味が良いためカット面がきれいでゴミが出にくい。



ファイバーラインを電動ドリルドライバー(別売)で巻き上げ、カットしていくためワイヤーに比べ格段に安全。

WRD
スパイダー4
300NEO
キット
(BLK)

品番: 500089

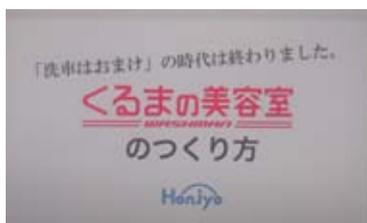


情報

BOX

information box

本荘興産 オンラインセミナーを開催



本荘興産は4月26日、オンラインセミナー「『洗車はおまけ』の時代は終わりました"くるまの美容室"のつくり方」を開催した。コロナ禍で自動車のあり方が見直され、また半導体不足に起因する新車の納期遅れも相まって、同じ車に（大事に）長く乗るユーザーが増えているということは、そこに洗車の需要もあると指摘。

しかしその一方で、多くのユーザーが洗車するであろうSSが減少傾向にあるため、行き場を失った洗車難民を受け入れるべく、今こそ洗車サービスを有料化すべきであると訴求した。

セミナーでは数々の成功事例や、洗車サービスを長く、そして身体的負担も軽く続けられる手洗い洗車用のツール（ウォッシュマンシリーズ）も紹介された。

同社では休止していたオンラインセミナーを今回を皮切りに再開、今後も定期的に開催するとともに、現地開催す

る研修も徐々に再開していく。

第2回整備事業者アワード2023 表彰式を開催



日刊自動車新聞社は4月26日、第2回整備事業者アワード2023表彰式を芝パークホテル（東京都港区）で開催した。

同アワードは、自動車整備業界を取り巻く環境が大きく変化する中で、経営の手本となり得る取り組みを行っている企業を表彰するもの。3領域、10部門賞に輝いた10社のうち日刊自動車新聞社大賞はオートモールジャパン（西山彰一朗社長、香川県高松市）、審査員特別賞をナオイオート（直井清正社長、茨城県取手市）がそれぞれ受賞した。

受賞企業は次の通り。

日刊自動車新聞大賞/ダイバーシティ・

女性活躍賞：オートモールジャパン

審査員特別賞/GX（グリーントランス

フォーメーション）：ナオイオート

先端整備賞：ティークラフト（田中郁雄社長、愛知県岡崎市）

連携強化賞：RSネットワーク（松村真也社長、三重県四日市市）

特定整備対応賞：小田安全硝子（山田昭二郎社長、兵庫県姫路市）

専門性強化賞：うしぶせ自動車（河田憲一郎社長、静岡県沼津市）

ES（社員満足）向上賞：東和本社（久慈俊幸社長、岩手県紫波郡）

ダイバーシティ・シニア活躍賞：業平自動車（菱沼進一社長、東京都墨田区）

地域貢献賞：ポデーショッブ佐野（佐野秀輔社長、埼玉県新座市）

地域経済活性化賞：関モータース（関文隆工場長、長野県諏訪市）

空研

下取りセールを実施中



空研は7月31日まで、エアサンダー及びアングルグラインダーの下取りセールを開催している。

期間中、対象機種を購入の際、手持ちの古いパワーツールを下取りするというもの。下取り対象のメーカー、機種は問わない。下取り金額は購入するツールごとに決められている。セール対象機種及び下取り金額は次の通り。

◆吸塵式サンダー（3,000円）

KDM-055S DAM-055S DAM-05AS
DAC-056S DAC-05AS KOS-42S
SAM-41S SAT-7S DAM-065S
DAM-06AS DAC-066S DAC-06AS

◆非吸塵式サンダー（3,000円）

KDM-055 DAM-055 DAM-05A
DAC-056 DAC-05A KOS-42
SAM-41 DAM-065 DAM-06A
DAC-066 DAC-06A

◆ポリッシャー、その他（3,000円）

KVP-501 PM-045 SAM-41GP
DS-4 DAC-05AI MRS-35

◆ベルトサンダー（4,000円）

KBS-10A KBS-12 KBS-20T

◆ストレートサンダー（5,000円）

KST-7S



エイミングを深く知るための ASVの基礎知識

第3回 特定整備の対象車両って見分ける必要があるの？

特定整備の対象車両

特定整備は当然ですが、AEBなど電子制御装置相当のシステムが搭載されている車両であることが前提です。しかし、同システムが搭載されていたとしても対象とならない車両があるのはご存じでしょうか？

基本的な考え方として、法令で定められている整備内容はすべて国交省が策定する車両の保安基準に基づいています。したがって、保安基準施行前に生産された車両は特定整備制度が適用されず、対象外となります。逆に、AEBの場合は装着義務化の期限が車種によって定められており、この期限以降の生産車両には保安基準に適合した装置が必ず装着されていますので、全数が対象車両となります。

それでは、この2つの期間の生産車両は対象車両か非対象車両か、どちらなのでしょう？ 答えは「この期間は対象車両と非対象車両が混在する」です。

この期間の対象車両は、カーメーカーがAEBの保安基準に適合していると国交省に届け出ていることが条件に

なります。そして、この間に発売された新型車両や追加装着された車種のほとんどが、型式指定の取得のために保安基準適合を届け出ているので対象となります。もし、何らかの理由で届け出なければ、その車両は対象外となります。

AEB以外の電子制御装置は、LKAS（いわゆるレーンキープ）や自動運行装置（レベル3、4の一部）などで保安基準が施行されていますが、ご存じの通り、装着は義務化されていません。国産乗用車の場合、これらシステムの装着車両は型式指定の取得時に保安基準への適合を届け出ていると思われます。したがって、これらのシステム装着車のほとんどが対象車両です。

対象車両の見分け方

それでは、国産乗用車に装着されたAEBの場合の日程を具体的に見みましょう。乗用車のAEBの保安基準施行日は2020年（令和2年）1月31日です。したがって、これ以前に生産された車両は確実に全数対象外です。また、新型車におけるAEBの装着義務

東北大学 工学部卒業後、トヨタ自動車へ入社。アフターサービス部門に配属され、品質管理からサービス企画・改善、部品のマーケティングまで幅広い分野を担当。その後、自研センターの取締役に就任。新しいアルミ修理技法などの修理技術開発を担当し、国交省や国内カーメーカー、機械・工具メーカーなどと意見を交わした。現在は、車体整備をはじめとした整備関連業界において複数社の顧問を務めると同時に、セミナー講師やコンサルタントとしても活躍。



佐野 和昭
SANO KAZUKI

化は2021年（令和3年）11月1日、継続生産車については2025年（令和7年）12月1日です。したがって、この期日以降の生産車は全数が特定整備の対象車両となります（図1）。

輸入乗用車の場合、開始は保安基準の施行日ですので変わりませんが、国産乗用車よりも義務化が新型車の場合は32ヵ月、継続生産車の場合は7ヵ月遅くなっています。また、トラックやバスの場合は車両総重量によって、この2つの期日が変わります。すべてのトラックやバスは、すでに装着義務化の期限が過ぎており、現在生産されている車両はすべて対象車両と言えます。

それでは、対象車両と非対象車両の車種が混在する期間はどのように見分ければ良いのでしょうか？ 対象車両は国交省のWebサイトにカーメーカーごとに車種や適用時期が記載されていますので、ここで確認できます。

特定整備の 対象車両の意味

ここで特定整備制度の対象車両、非

対象車両の違いの意味を考えてみます。対象か否かは、特定整備制度が該当車両に適用されるかどうかの違いです。作業ベースで考えると、該当車両に対するエイミングなどの電子制御装置に関する作業が、特定整備に該当するかどうかの違いとも言い換えられます。

特定整備に該当しないということは、特定整備制度が始まる前と同じ状態、つまりエイミングなどの電子制御装置に関する作業をするために電子制御装置整備認証が必要ないということです。そのため対象車両、非対象車両の違いは、エイミングなどを実施するのに電子制御装置整備認証が必要かどうかの違いとも言えます。

対象車両とエイミングなどの要否との関係

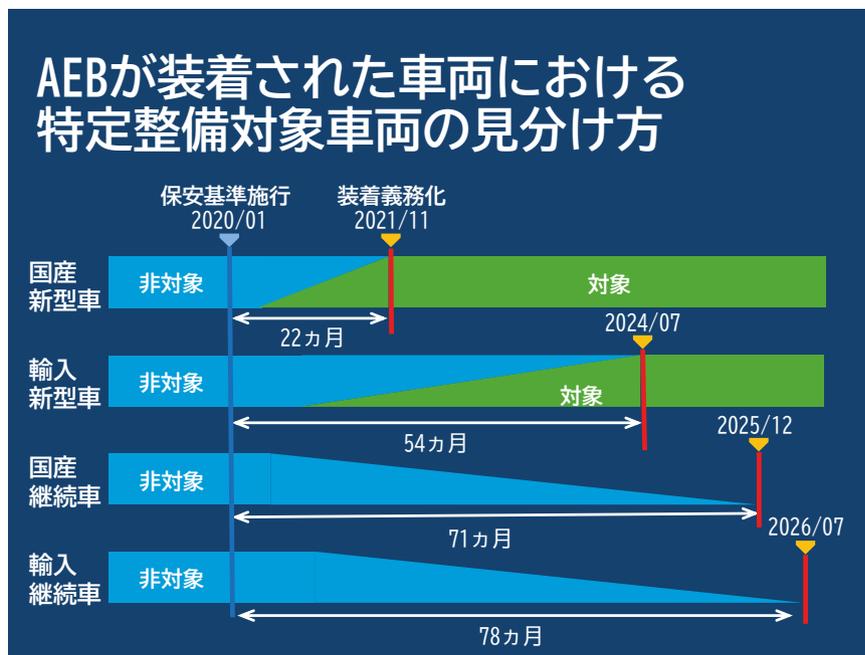
それでは特定整備の対象車両、非対象車両とエイミングなどの要否との関係はどうなっているのでしょうか？

特定整備制度開始以前でもAEB装着車については、エイミングが必要だと整備書に記載されている場合、エイミングを実施する必要がありました。これと同じでAEBが装着されており、エイミングが必要な場合は、特定整備の対象か否かにかかわらずエイミングを実施する必要があります。

エイミングが必要であるにもかかわらず実施しなかったため、万が一、事故が発生した場合、整備書の記載に従わなかったわけですから、整備ミスとの責任を負わされる可能性があります。ここで重要なのは、非対象車両であるからといって責任を取らなくても良いわけではありません。従来からも整備に関する責任はありましたが、特定整備制度が開始されて整備責任が法的に明確になったというだけです。

私は法律の専門家ではないので確かなことは言えません。ですが、このよ

図1 AEBが装着された車両における特定整備対象車両の見分け方



うな整備ミスに関する訴訟があった場合、対象車両、非対象車両で整備事業者の責任の有無自体は変わらないと予想されますが、責任の程度の判定には影響する可能性があるかもしれません。

結果的に、「エイミングが必要な車両は、対象車両か否かに関係なくエイミング実施が必要だ」ということです。特定整備の対象、非対象とエイミングの実施の要否とはまったく関係ありませんので、この意味を十分に理解し、勘違いしないようにしてください。

実際の運用は？

それでは実際の運用はどうすれば良いのでしょうか？ 電子制御装置整備の整備主任者等資格取得講習において、エイミングなどの電子制御装置にかかわる整備は、分解整備記録簿の“その他の点検・整備項目”欄に記入するよう説明されています。同様に対象外の車両の場合についても、この欄にエイミング実施を記載すれば良いのです。非対象車両でもエイミング実施時は、対象車両と同様の運用をしても

問題ありません。

繰り返しますが、エイミング実施の要否の基準については整備書に従えば良く、対象車両であっても非対象車両でも変わりません。つまり、実はわざわざ特定整備の対象車両かどうかを確認する意味はあまりないのです。単純にエイミングが必要な車両は、すべて実施するというシンプルな運用をお勧めします。

今回の疑問に対する回答

以上から運用上は「特定整備の対象車両を見分ける必要はなく、エイミングが必要な車両は、すべて実施すれば良い」と言えます。

なお、対象車両や対象作業については、私が講師を務めるオンラインセミナーの管理編の中で分かりやすく説明しています。ぜひ、受講いただければ幸いです。 (つづく)

好評連載中!

「エイミングを深く知るためのASVの基礎知識」の筆者が語る
ここでしか聞けない特定整備セミナー

特定整備オンラインセミナー



「管理編」

初回特別価格
3,300円(税込)

長年カーアフターマーケットの第一線で活躍し、独自の知見を持つ佐野和昭氏が講師を務める『特定整備オンラインセミナー』を企画しました。

「基礎編」・「管理編」・「戦略編」・「実践編」の4講座で構成される本セミナーは、公開されている特定整備制度の解説だけでなく、経営者、管理者視点で知っておくべき情報を定量的な推測データを下に解説した、ここでしか聞くことができない内容です。

「管理編」の内容は右表の通りです。「管理編」の視聴を希望する方は、配信期間を選び、QRコードからお申し込みください。

特定整備オンラインセミナー「管理編」

分野	項目	内容
背景	自動運転車の進化	現在の進化状況と今後の見込み
	対象車と対象作業	対象車両の確認方法と対象作業の詳細
特定整備制度	指定工場の経過措置	保証証発行可否と指定工場の新規取得
	認証の取得	取得範囲の考え方と期限・実績
リスク管理	外注可否範囲と責任	工場資格による作業範囲と責任
	作業漏れのリスク	角度ずれによる影響と訴訟リスク
輸入車	輸入車への対応	独各社の作業方法概要と対応ハードル
OBD車検	OBD点検・OBD車検	両制度の相違点比較と特定整備への影響

配信期間その1

6/21(水) 18:00~
6/27(火) 18:00

締切:6/20(火) 12:00まで



配信期間その2

6/28(水) 18:00~
7/4(火) 18:00

締切:6/27(火) 12:00まで



セミナー動画の視聴方法

- 1 QRコードを読み取り、クレジットカード決済で申し込み
- 2 決済完了後、申し込み時に入力いただいたメールアドレスへセミナー概要を送付
- 3 配信開始日の12:00にメールでセミナー動画を視聴できるURLアドレスを送付
- 4 お送りしたURLからセミナー動画を視聴（配信期間内であれば、何度でも視聴いただけます）
- 5 配信期間終了後、メールでアンケートを送付
- 6 アンケートに回答いただいた方には「管理編」のレジュメをデータでプレゼント

注意事項

※本セミナーは、事前に録画したセミナー動画をお持ちのPCやタブレットなどでご覧いただけます。
※支払い方法は、クレジットカード決済のみとさせていただきます。
※決済完了後のキャンセルはお受けいたしかねます。あらかじめご了承ください。



講師
佐野和昭

特定整備オンラインセミナー 「基礎編」をBSRwebで 無料公開中!



本セミナーの基本となる「基礎編」をBSRwebで公開しています。全事業者を対象とした「基礎編」は、特定整備制度の経緯から制度の対象、認証の体系と取得条件、エイミングの役割と種類といった基本概要を説明した後、この後に続く「管理編」・「戦略編」・「実践編」のセミナー内容を紹介しています。ぜひ、「管理編」を視聴する前に「基礎編」をご覧ください。

特定整備オンラインセミナー「基礎編」

分野	項目	内容
背景	特定整備制度の経緯	制度が制定された経緯
	制度の対象	対象の車両・装置・作業
特定整備制度	認証体系と取得要件	制度の認証体系と取得の要件
	認証制度の運用	制度を運用する上でのルール
エイミング	役割と種類	技術的な仕組みと各方式の作業概要
	作業のパターン	3基準組み合わせ、5パターンへの分類



日本初！体験型ディテリング用品専門店！

PRO POLISHING TOOLS!

Bullet★

購入前に
無料で試せるので
無駄なく安心して
お買い物ができるわ

プロが実際に使用するディテリングツールで、 より効率的に、より楽しく、より上質に！

BULLET (バレット) は創業から13年、日本初の体験型実店舗オープンから4年のプロ向けディテリング資材専門店です。新規創業やディテリング部門追加などのスタートアップから事業安定化まで最適な資材導入をしっかりとサポート！お客様にとって、なくてはならないパートナーを目指します。



店舗にて全商品
お試し頂けます！

WHAT'S NEW!?



商品数
大幅アップ！
覗きに来てね！

まずは、お気軽にお問合せください！

詳細はWEBをご覧ください▶ [バレットコーティング](#) 検索

TEL 049-257-7554



ネット通販！ が便利です！

- ★ ¥33,000(税込)以上のご購入で代引き手数料無料！
- ★ ¥11,000(税込)以上のご購入で送料無料！※一部商品・地域を除く
- ★ 13時までのご注文で当日に出荷可能！※在庫切れの場合を除く

Bullet 株式会社 BULLET [バレット] | OPEN 10:00~18:00 | 埼玉県入間郡三芳町上富850-1 | 定休日(日曜)

[取扱品目]★ポリッシャー★コンパウンド★パフ★コーティング★ケミカル★バックパッド★クロス★ツール★その他

新商品も
イベントも
展開中！



第4回

座敷での会食の心得

コロナ禍というより一層厳しい環境だからこそ、会社を潰さないこと、後継者を育てることが経営者の務め。自身のマナーを率先して見直してみても？

前回、料亭でのお昼の部から、和室においての「床の間と上座」のお席についてお話をいたしました。今回は夜の部から、3点お伝えしたいと思います。

正式床のある和室において、15人の懇親会の場でした。座る席が決まらないのです。困ったことに年長者で中心的立場のAさんが入口に近い下座に座られたものから、他の人たちはなおさら自席が決められない（Aさんにはどうしてもそこに座りたい理由がありました）。

やはりこのような場合は、幹事役の方が采配を振るべきですね。辞退する回数もくどくならないよう、二度目には気持ち良く受けられて着席するのが良いと思います。

さて、その次に悩ましいことが、上座に座られた方の振る舞いです。

会席料理ですから、一品ずつ運ばれてきますが、まったく箸を持つそぶりが見えないのです…（`ω´）…。

一応、大切な方がお箸を取ってくださらないと、他の人は先にいただきにくいのです。

このことは、社員さんとの食事会でも同じことが言えます（逆に、社員も上司より先に飲み食いを始めるのはマナー違反となります）。

3番目の気になったことは、椀物の蓋の扱いです。椀の右側に仰向けにして置きます。

椀物の器は上質なものが多く、取り皿の代わりには使えません。どうしても取り皿にする場合は懐紙を敷いてから使います（懐紙??? またの機会にご説明いたしますね）。

そして汁をいただき終えたら、蓋を元の状態に戻してください。決して蓋裏を上に向けて重ねることのないようにしてくださいね…（`ω´）…。

そんなことをしたら、食べ終わっているかどうか分からないではないですか？大丈夫です、きれいに元通りの椀にした後、中心から少しずらした位置に置くだけで、お店の方は心得ていますのでわかります。

ここまで大きく3つの意識していただきたいことを伝えました。今の時代や事情にあったマナーを会得することは、どんな場所においてもきちんと周りの人とコミュニケーションがとれる心の余裕になることと思います。

では、また来月お会いいたしましょう。



筆者プロフィール

原田さとみ

自動車リサイクル業の社長を26年務めた後、その経験で培った社員教育に関するノウハウを地元高松市はもちろん、日本全国の中小企業に還元し、元気になってもらいたいと日々活躍中。マナー教育を入口とした手法は、母親が子供に諭すような語り口も相まって全国にファンが増殖中。



有限会社 早蕨 (さわらび)

090-8281-6588

受付時間/10:00~18:00

在宅・リモートワーク時代の新しい人材育成「リベラルアーツ教育」を展開中。リベラルアーツ（多様な知識を学ぶ）教育を行う目的は、広い視野で物事を判断できる力を養うことです。詳細はこちら↓

<http://sawarabi.biz>



第4回 最適な顧客接点体系を考えよう

今回は、顧客接点体系を見直し、顧客フォローの仕方を改善した結果、入庫台数やサービス粗利を1.4倍まで増大させた整備工場の事例をご紹介します。この会社は、フロント1人、メカニック3人で運営している。車検は約600台/年、基盤顧客数が約1,500件。今後の市場縮小を見据え、自社の基盤顧客を増やし基盤代替を促進するために、数年前から、本格的に顧客の離脱を防止する取り組みを最優先課題として設定し、顧客フォロー体系の構築に取り組んだ。その結果、月平均411万円のサービス粗利が、1年目に+43万円の454万円（1.1倍）、2年目には+79万円の490万円（約1.2倍）、3年目には+175万円の586万円（約1.4倍）にまで増大した。

この会社では、改善活動以前も、車検は3ヵ月前から入庫案内を始め、年1回の法定点検は案内DMを発送していた。今回の改善活動の基本的な考え方は「顧客接点の増大」。車検から次の車検までの2年間、いかに多頻度で接点を作れるかだ。

顧客フォローは最初が肝心であ

る。まずは、自社を初めて利用いただいたサービス新規客にお礼状を発送し、調子うかがいのコールを開始した。付き合いが始まった初期段階の接触頻度を多く持つことで、今後の継続的な入庫につなげられる。

また、次の車検までの間、「ほったらかし」では、代替はもちろん、次の車検入庫も危うくなる。だからこそ、12ヵ月法定点検だけではなく、オイル交換の案内に注力し、6ヵ月ごとに入庫促進の案内を実施するようにした。そして車検は、6ヵ月前からDM発送と案内コールを始め、予約が獲得できるまでアプローチを徹底。結果、車検3ヵ月前までの予約の比率が飛躍的に高まった。

この会社の改善前のDM送付タイミングは、月に1回だったが、車検期日を起算日とした場合、1日と31日の顧客では実質1ヵ月もズレが生じることになり、顧客によっては、的外れな案内となることもある。

そこで、取り組みを開始してからは、週に1回、リストを抽出して送付するルールを導入した。これにより正確なタイミングでフォローができ

るようになり、案内コールの取り組みも促進された。これまでは1ヵ月分まとめてリストを渡されるため、コールをするつもりがあっても、そのボリュームからつい後回しになり、結局やり切れず、翌月のリストが来てしまうという繰り返しだった。今回の送付タイミングの変更により、1週間分のリストが渡されるようになったことで、今日やるべき対象が明確になり、行動計画も立てやすくなり、コール活動が飛躍的に進んだ。

今回の事例のポイントは3つ。

- ①顧客フォロー徹底による離脱防止を最優先課題に設定
 - ②接点体系を組み直し、顧客との接触頻度を増大
 - ③最適なタイミングでDMを発送することで、案内コールを徹底
- 基盤顧客の離脱防止が実現できていない中では、新規獲得策を推進しても顧客を増やすことは難しい。逆に基盤顧客の離脱防止が対策できれば、新規客の獲得により、さらなる顧客増大を実現できる。ぜひ、今後の収益増大、また安定経営のために、取り組んでいただきたい。



筆者プロフィール

株式会社チームエル 取締役CMO。2006年に愛車広場カーリンクのチェーン展開開始と同時に、カーリンク基礎研修の開発に着手、その後も直営店の出張査定センターのマネジメントやディーラーコンサルティングなど、幅広く様々な仕事を経験、2014年からはCaSSの会員制度を立ち上げ、会員向けのサービスや企画を開発。

いづみの車検予約やってみた



第4回 ネット集客の告知② Web集客のいろはについて



みなさまこんにちは! ヤマウチの人見です。こちらのコラムは、前もって編集長からテーマをいただいて書いているのですが、先月号にて早くも脱線してしまい、「ちょ! 人見さん! 自由過ぎです!!」とガッチリ叱られてしまいました(笑)。今月号では、ちゃんと真面目にWeb集客について書きますね(ふむふむ、分かればよろしい 編集長談)!

Web集客って言っても、ひとことでは言い表せないほどに手法がいっぱいあるんです。ですので「今さら聞けない系」でまとめてみました。「んなもん知ってるよ!」って方は、どうぞご容赦くださいませ。

まずは有名どころのSEO※1対策。グーグルやヤフー、サファリなど検索エンジンの検索小窓へ入力したワードに連動してWebページの表示個所を上位に浮上させる工夫全般のことで、広告費用などを一切投下せずともWebサイトのしつらえや運用方法などの工夫で結果が出ますから「Webサイトをお持ちの会社さまは、もちろんやっていますよね!」という基本のWeb集客対策になります。(※1 SEO = Search Engine Optimization)

次に有名どころなのはMEO※2対策です。グーグルでワード検索をすると、グーグルマップが出てくることってありませんか? このマップ上で、お店の場所や情報を上位に表示する工夫全般のことをMEO対策と言うのですが、SEO対策と大きく違うのが、お客様が自由に書けるクチコミコーナーがある上、★の数で点数評価がなされることです。閲覧者からすれば、お店を利用するか否かの決め手になりそうでしょう? こちらも基本無料でできる工夫ですから「新規利用客を増やしたい会社さまは、もちろんやっていますよね!」というたぐいのもです。(※2 MEO = Map Engine Optimization)

次は工夫のお話ではなく有料広告です。PPC (Pay Per Click) 広告とよく表現しますが、きっと「検索ワードに連動して上位に『広告』という文字とともに出てくるヤツ」と思う方が多いのではないかと思います(これをリスティング広告と言います)。しかし、PPC広告は読んで字のごとく「閲覧した人がクリックするたびに広告主に料金が発生する」という仕組みですから、検索エンジンに出てくる写真などを用いた広告(これをディスプレイ広告と言います)も含まれます。

リターゲティング広告という手法もあります。「インパクトレンチを検索し、製品を取り扱っている会社のWebサイトに訪問。その後、居酒屋さんとか、まったく違う検索をしてみると、ずーっとその会社の広告が追いかけてくる」、このような経験をしたことはないですか? あれです。

閲覧履歴から自動で追いかけてくる手法なのですが、昨今では「閲覧履歴を勝手に覗かれるのは不快だ。趣味嗜好は個人情報ではないのか?」との声もあり、多くの検索エンジンで、自主的に、閲覧者がトラッキング(Web利用者の動きを追跡し分析する行為)の可否を選べるようにしています。この上に、LINEなどのSNSを活用したプロモーションの手法がありますが、大変身近ですし「ココだけやりたい」会社さまもいっぱいいらっしゃいます。だけど、Web集客の構造を知り、何をしたいのかをつまびらかにして媒体を選ぶことをおすすめします。「新規客を増やすにはMEO対策」、「受注を増やしたければSEO対策」、「顧客流出を防ぎたいならばLINE」、こんな風に個別にWeb戦略を敷き込んでおいて、諸々を抱き合わせてプロモーションをかけられたら最高ですね!



筆者プロフィール 人見いづみ

メカニック全員が退職するという、悪夢のような経験を経て、たった2名からオリジナルブランド「ラチェットモンキー」を立ち上げ、3店舗・年間のべ利用客数28,000人・車検台数6,000を実現。現在は自社開発した予約システム「totoco(ととこ)」を販売しながら、講演活動にも取り組む。

株式会社ヤマウチ

<https://totoco.biz/>

グーネットピット加盟工場に寄せられる多くの修理事例から人気の高い事例を紹介！

その他作業実績が盛りだくさん→<https://www.goo-net.com/pit/>

高山自動車 (宮崎県宮崎市)

症状 バッテリー交換後にエンスト発生

原因 セルモーターの不具合

対象車両 ホンダ N-BOX JF1 H27 年式



診断作業

一概にエンストと言っても、昨今の電子制御もりもりの車では様々な原因が考えられます。オーナー様に聞いたところ、バッテリー交換前から症状が出始めていた模様。試運転と診断機によるデータモニタリングを数日行いましたが、症状が出ることはありませんでした。国土交通省のリコール情報サイトなどからセルモーターが怪しいと推測するも、このモデルまでエンスト時のフリーズフレームデータも残らないらしく、読み取りできませんでした。そこでディーラーに相談し、車を預けることになったのですが、ディーラーでも症状が出ることなく、「原因不明」とのことで引き取りました。

その後、相談を寄せたディーラーで、同じ症状の車が入庫したらしく、その車は運良く症状が出て診断ができたとのこと。やはりセルモーターが原因で間違いないようで、その際の様々なデータと当社が預けた車のデータがほぼ一致したとの回答でした(約3週間を要した)。

作業

作業自体は至ってシンプルです。

車がいかに進化しようとも、セルモーター交換はいつの時代でもやっていますからね。セルモーター本体はリビルト品を使用します。

N-BOXにおいてはセルモーター交換時は、パワーリレー(セルモーターへの電圧を制御するスイッチみたいなものです)も同時交換となっているようで、こちらも交換しています。エンジンルーム内リレー BOXにあります(6と7と書いてある場所)。

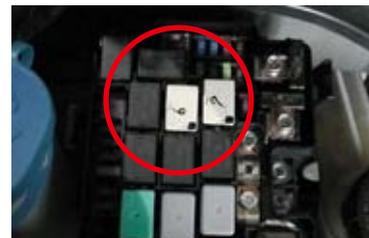
作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子を外します。セルモーターはエンジンの裏側にあるので、ちょっと大変ですがサクッと交換してしましましょう。

セルモーター本体及びリレーの交換が終わったら、バッテリーの端子を接続し、車内OBDIIコネクタに診断機をつなぎます。アイドルストップ車では、セルモーターの始動回数をECUがカウントし、何かしらの制御に使うらしいです。ちなみに今回の車は21,975回でした。

この始動回数をリセットしてやる必要があるわけで、診断機の作業サポートが必須なのです。リセットが完了したら、後は始動テストとアイドルストップ機能のテストを数回行って、問題がなければ作業完了です。



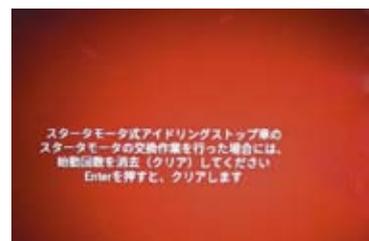
セルモーターと同時交換が必須のパワーリレー



6・7がエンジンルーム内のパワーリレーの位置



セルモーターはエンジン裏側のこの位置



診断機をつないで始動回数をリセット



第4回

買い手候補先への 提案の進め方

実践M&A

こんな時どうする？
具体的なノウハウを伝授！

フォーバル 寺越基格

今回は、M&Aで譲渡する場合の条件設定についてお話ししました。今回は、買い手への提案の進め方についてお話ししたいと思います。

まずM&Aを進める上で重要なことは、① 秘密裏に進めること、② 自社の強みと弱み（課題）をしっかりと伝えること、③ M&A検討中も会社の成長を止めないことです。この3点を念頭に置きながら、読んでいただければと思います。

アドバイザーによる進め方は、

- (1) ノンネームシートの提示
- (2) 企業概要書の提示
- (3) トップ面談

という順に進みます。

(1) ノンネームシートとは、秘密保持契約締結前に買い手候補先に提示する資料で、1ページ程度で業種、売上規模、地域、その他特徴を大まかに記載したものです。これを見ただけではどの会社か特定できない程度の情報しか載せません。

このシートを見て関心がある先に対して、また、譲渡企業からの開示許可を得られた時に初めて企業概要書を提示します。

(2) 企業概要書とは、会社名や事業内容、財務諸表などが詳細に記載された情報です。これを見て買い手候補先が検討し、**(3) トップ面談**に進みます。

話は少し変わりますが、時々、アドバイザーを活用せずに自分で進める方もいます。私が過去にお手伝いした方にも、「実は以前、仲の良い社長にうちの会社を買ってくれないかと相談に行ったけどダメだった」という方がいらっしゃいました。ご自身で進めるほうが手数料負担は軽くなりますが、業務負担は重くなります。当然、M&A検討中でも、本業の時間をM&Aに割くことはできません。そのため、資料作成、候補先探し、条件交渉、条件の妥当性の検証などをご自身で正しくできる方はほとんどいらっしゃいません。特に、手数料がもったいなくてご自身で進めたにもかかわらず、譲渡対価がM&Aに慣れた買い手の言いなりでは本末転倒です。

話は戻りますが、M&Aを進めるにおいて、企業概要書はとても重要です。私が初めて成約した案件は、私が作成した企業概要書が不満で、ご

自身の20ページ超の営業資料で提案してくれと言われましたが、ある買い手候補先から「こんな資料で検討できるか!」と怒られました。そこで、私が作成していた企業概要書を見せたところ、「最初からこっちで説明しろ!」と言われました。恥ずかしながら実話です。

要するに、ご自身が作成した資料では、M&Aを検討する情報が不足していることが多々あります。また、ご自身の強みと弱みは、自分では分からないということです。

社長だけでなく、部下を持つ方なら理解していただけたと思いますが、部下に自己評価をさせた場合、高い点数をつけてくる方が多いのではないのでしょうか？ また、自身の優先課題が的を射ていないケースも多いと思います。自分の強みに気づいていない、もったいない方もいらっしゃいます。

いずれにしても買い手への提案はアドバイザーを活用するほうが効率的で的確だと私は思っています。



筆者プロフィール

金融機関にて中小企業への融資や経営コンサル・M&A実行支援に従事。株式会社フォーバルへ入社後、自動車整備会社をはじめ多くの中小企業のM&A支援に携わり、企業の存続及び成長に貢献。中小企業の創業理念や従業員への想いを重視し、経営者にしっかりと寄り添うコンサルタントとして、経営者からも厚い信頼を受けている。

事業承継・M&Aのご相談はこちら

株式会社フォーバル

事業承継支援部

自動車アフターマーケットチーム責任者 寺越

TEL : 0120-37-4086

<https://forval-shoukei.jp/>



工場概要

社長：平田 弘行

神奈川県大和市上和田 1822

設立：1961年

スタッフ数：49人

事業内容：

大型車整備・車検、小型車整備・車検・钣金塗装、損害保険・生命保険・新車・中古車販売、横浜市交通局（バス車両整備工場整備業務委託）



工場ルポタージュ

MAINTENANCE SHOP REPORTAGE

【神奈川県大和市】

平田自動車工業

社長就任から3年

コロナ禍は今年跳ねるための準備期間だった

小型車から大型車までの整備、修理で2拠点4店舗を構える平田自動車工業（平田 弘行社長）。「感謝と奉仕の精神で人に尽くすこと」という基本姿勢が評価され、市営交通車両の整備も任される同社に話を聞いた。

地域社会の一員として発展に貢献 石の上にも3年が実を結ぶ

同社はモータリゼーションの初頭、1961年に横浜市で創業。地域社会の一員として60余年、後に大和市にも拠点を広げるなど、地域の発展に貢献してきた。

こうした地域密着の方針、また商道

の基本とされる「感謝と奉仕の精神で人に尽くすこと」という姿勢が評価され、創業から早くも5年後の1966年には横浜市交通局の指定工場契約締結にまで至り、現在も厚い信頼を寄せられている。

同社の扱い車種は小型車から大型車まで、サービス内容も整備、車検はもちろん、小型車の钣金塗装や損保・生

保の販売や新車・中古車の販売など、いわゆるバリューチェーンが自社単独で構築できている。

平田 弘行社長は今から3年前に社長に就任した。すなわちここまでの3年間はコロナ禍とともにあったのだが、「新車の生産が滞ったことで、今ある車に長く乗り続けるという気運が高まり、昨年は小型車部門、大型車部門ともに好調だった。ディーラーでも整備需要が高まっていて、入庫であふれた大型車が自社に回ってくるという幸運にも恵まれた」と振り返る。

ピンチはチャンス

コロナ禍は社内を見つめ直す好機

とはいえ、外出自粛を呼びかけた非常事態宣言もあった。社長として苦しい船出だったのではと話を向けるも、「この3年間は、組織をいかに強固なものにするか、現場のスタッフと社内を見つめ直す良い機会となった。思い切った色々な施策にトライできたし、社員が声を上げやすい環境も構築できて、古い体質からの脱却も図れた」と前を向く平田社長。今後のカギを握るEV関連の情報を求めて常に東奔西走する姿は頼もしかった。（八木 正純）



活動的に情報を収集する平田 弘行社長



創刊33年になる情報誌「HIT」を毎月3万部発行

ANZENがご提案する ASV関連機器サポートツール



ARCOS

タッチレスホイールアライメントテスター
「アルゴス」

測定時間
わずか
5秒!
※トー・キャンパー
測定

車両を乗り入れるだけで高精度
かつスピーディーな測定を実現

搭載したカメラにより、ホイールを3次元として測定。従来のアライメントテスターと異なり、ホイールにターゲットを装着することなく、作業時間を短縮し高精度な測定を実現



FULLタイプ
リフト最下限で測定、リフトアップでの調整に最適、で既存のドライブオンリフトの使用が可能
※床・埋設仕様に対応。リフト使用時、デッキの前後位置の変位量が100mm以内のこと



PITタイプ
床上で測定、ピットでの調整に最適



※写真はFULLタイプ
※リフトは別売りです



truckCam™

大型車用カメラ方式アライメントシステム
「トラックカム」TC-2003

短時間で高精度な
アライメント測定を実現

高い耐久性の赤外線カメラセンサーを採用。セッティングも簡単で測定は画面に表示されるアニメーションと解説に従うだけのラクラク操作



〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
TEL(03)5441-3415 FAX(03)5441-8848
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>



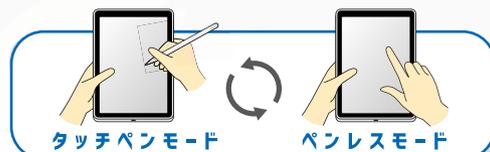
楽々エーミング エーミングサポート用アプリケーション

新機能！ペンレスモード追加 アプリケーションアップデート



iPad の画面上に
ターゲットスタンドの
設置位置が、
表示されます

国内メーカー 9 社
206 車種の
エーミング情報を収録



モードは任意で切り替え可能になりました



操作についての説明動画がございます



ホイールアライメントシステム PA260

コストパフォーマンスに特化した スタンダードモデル



キャビネットと
カメラセンサー
一体型移動式



商品詳細やカタログはこちらからどうぞ

タッチレスインスペクション Quick Check Drive & Quick Tread Edge

タイヤトレッドを測定

ホイールアライメントを測定

車両通過時にカメラで
ナンバープレートを確認

車両を通過するだけで
アライメントやタイヤトレッドを測定

驚きの自動測定の様子をご覧ください



KTC

電動式タイヤリフターで タイヤ交換作業を 素早く、簡単に!!



タイヤ交換の課題と解決策をご提案

自動車整備の重労働作業「タイヤ交換」における課題を解決します!

限られスペースでも
エアホースを気にせず作業がしたい



電動式で移動がラクな
コンパクトサイズ

ホイールの穴位置調整を
素早く行いたい



回転式ロッドとダンパーで
ホイール取付がスピーディー

タイヤの入れ替え作業の
負担を軽減したい



タイヤの交換や
ローテーションがラク

電動式タイヤリフターで
タイヤ昇降作業が安全快適に!

タイヤリフターとの組合せで
ローテーション作業を省力化!



タイヤリフター
No. AWL101



タイヤローテーションワゴン
No. AWR101

法人限定
今なら
無料

「タイヤリフター」と「タイヤローテーションワゴン」の
お試しレンタル 実施中

専用ページより申し込みいただけます ▶

